

淡路島における魅力的な海事観光ツアー造成調査
報告書

国土交通省 神戸運輸監理部

目次

はじめに	1
(1) 業務の目的	1
(2) 実施概要	2
1 淡路島における観光コンテンツ整理	3
(1) 淡路市における観光コンテンツ	3
(2) 洲本市における観光コンテンツ	5
(3) 南あわじ市における観光コンテンツ	6
(4) 淡路島で体験可能な主な海事観光コンテンツ	9
2 観光コンテンツを組み合わせたツアー提案	16
3 モニターツアー催行及び参加者アンケート調査	27
(1) 国生み神話の舞台を周遊！スピリチュアルアイランド淡路島体感モニターツアー	27
① ツアー選定理由	27
② 実施概要	27
③ ツアー行程	31
④ 参加者アンケート調査	40
(2) 親子で楽しむ懐かしの淡路島モニターツアー	50
① ツアー選定理由	50
② 実施概要	50
③ ツアー行程	54
④ 参加者アンケート調査	61
4 モニターツアー実施事業者および地域関係者アンケート調査	74
(1) ツアー実施事業者アンケート調査	74
(2) 地域関係者アンケート調査	83
5 モニターツアー効果検証	86
6 効果検証を踏まえた今後の取り組みについて	87
● 宿泊を伴う観光について	
● インバウンド需要に対応可能な魅力的なツアー商品の造成について	
● その他の観光可能性について	

はじめに

(1) 業務の目的

淡路島は「歴史・文化・自然・食・温泉など」多彩な地域資源に恵まれ、都市近郊型の観光地として人気を博しているが、訪れる観光客の多くが「日帰り観光」であることや「インバウンド需要」が低いことなどがかねてより課題とされており、さらに、新型コロナ感染拡大以降、観光需要そのものが低迷したことにより、地域の観光関係者は大きな影響を受け、危機感を募らせている。

このような状況のもと、豊富な「海事観光コンテンツ」と「国生み神話」など淡路島特有のストーリー等を組み合わせた宿泊を伴う魅力的な体験型ツアーを考案し、モニターツアーとして催行した上で、利用満足度や新たな課題などを検証することにより、今後の大阪・関西万博開催及びアフターコロナ期におけるインバウンド需要に対応可能な魅力的なツアー商品の造成を目指す。

加えて、淡路島地域の活性化、観光誘客の増加、消費拡大、海事観光の推進に資するため、本調査業務の結果を地域関係者と共有する。

■これまでの検討経緯と本事業の位置づけ

【令和2年度】		▼企画内容	
●事業目的			
・新たな海事コンテンツ案の整理			
●事業内容			
・旅客船を活用した新たなクルーズ企画の提案			
⇒ファミリー層向けの企画			
⇒若者・カップル向けの企画			
⇒ワーケーション・長期滞在者向けの企画			
⇒富裕層向けの企画			
		ターゲット	狙い
日帰	ファミリー		手軽に楽しめるクルーズ
			大阪湾ランチクルーズ 淡路島一周クルーズ 沼島、友ヶ島クルーズ 明石海峡クルーズ
	若者		体験をイメージしたクルーズ
	カップル		サイクリングと組み合わせたクルーズ
			明石海峡クルーズと主権見学 サイクリングと小型船を活用した ショートクルーズ
宿泊	ファミリー		贅沢なクルーズ
			大阪湾ナイトクルーズ
	若者		絶景、フォトジェニックが魅力のクルーズ
	カップル		明石海峡ナイトクルーズ 明石海峡サンセットクルーズ
ワーケーション 長期滞在者			ゆったり癒しのクルーズ
			大阪湾ジャズナイトクルーズ 沼島散策と漁業体験クルーズ
富裕層			多様なニーズに合わせたクルーズ
			中型クルーザーを活用した チャータークルーズ

【令和3年度】		▼ツアーチラシ	
●事業目的			
・海事観光コンテンツの具体化			
●事業内容			
・旅客船を活用した新たなクルーズ企画の実証事業を実施			
⇒うずしおナイトクルーズ（計4回）			
⇒サンセットクルーズ（計3回）			
			

【令和4年度】	
●事業目的	
・淡路島ならではの魅力的な海事観光ツアーの造成	
●事業内容	
・淡路島特有のストーリー性を有する魅力的な海事観光ツアーの考案及び実施	
⇒宿泊を伴う体験型ツアー（2本）の催行及び効果検証	

(2) 実施概要

本事業は、以下の流れで実施する。

1章 淡路島における観光コンテンツ整理

- ・各コンテンツのジャンルや施設概要、体験内容等を体系的に整理
- ・淡路島で体験可能な海事観光コンテンツの整理
- モニターツアー及び今後の商品造成の検討資料として活用

2章 観光コンテンツを組み合わせたツアー提案

- ・淡路島の“強み”を活かしたツアー商品を複数案整理
- ・インバウンド旅行者や国内のファミリー層等、具体的な利用対象を設定
- 本事業における実施ツアーの検討として活用

- ①陸から海からうずしおを楽しみ海鮮に舌鼓
- ②国生み神話をたどる
- ③日本のアニメ文化と明石海峡を楽しむ
- ④淡路の生活を知る！玉ねぎ収穫体験&酪農体験
- ⑤淡路の生活を知る！漁業体験
- ⑥歴史を感じる！泉南－淡路島間の航路と淡路往還道サイクリング
- ⑦“淡路の食”と心身ともに安らぐ体験
- ⑧淡路のマリンアクティビティを遊び尽くす！
- ⑨淡路花めぐり
- ⑩思い出が生まれる体験の旅

モニターツアーの実施

3章 モニターツアー催行及び参加者アンケート調査

- 国生み神話の舞台を周遊！
スピリチュアルアイランド淡路島体感
モニターツアー
・チラシ等、広告の作成
・参加者へアンケート調査を実施
→効果検証・課題整理・方策検討に活用
- 親子で楽しむ懐かしの淡路島
思い出が生まれる体験の旅
モニターツアー
・チラシ等、広告の作成
・参加者へアンケート調査を実施
→効果検証・課題整理・方策検討に活用

4章 モニターツアー実施事業者および地域関係者アンケート調査

- ・モニターツアー実施事業者へアンケート調査を実施
- ・地域関係者に対するアンケート調査を実施
- 受け入れ基盤整備の状況及び効果検証・課題整理・方策検討に活用

5章 モニターツアー効果検証

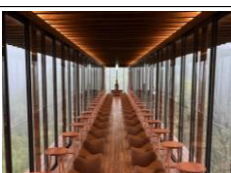
6章 効果検証を踏まえた今後の取り組みについて

1 淡路島における観光コンテンツ整理

魅力的なモデルツアーの考案・催行に向け、淡路島における観光コンテンツについて、以下に整理するとともに、大阪・関西万博開催及びアフターコロナ期の「インバウンド需要」を見据えた「魅力的な海事観光ツアー」造成のための検討資料とする。

(1) 淡路市における観光コンテンツ

● 景観・癒し要素 ● 歴史的要素 ● 文化的要素
● 飲食施設 ● レジャー施設

No	施設名等	ジャンル	施設概要	体験内容・料金等	駐車場	写真
1	伊井諾神宮	歴 文	『古事記』・『日本書紀』に登場する、国生みの大業を果たされた伊井諾尊(イザナギ)と伊井冉尊(イザナミ)の二柱を祀る神社。	参拝：無料 御神楽奉納など	有	
2	ニジゲンノモリ	レ 文 景	兵庫県立淡路島公園内にある”二次元コンテンツ”の世界観を、五感を使い、体を動かしながら体験できる、純日本産のアニメパーク。	ゴジラ、クレヨンしんちゃん、ドラクエなど様々なアニメコンテンツをリアルに楽しめる空間。	有	
3	HELLO KITTY SMILE	レ 文 食	乙姫のハローキティと竜宮城の世界を楽しむメディアアートギャラリー。イベントエリアやオリジナル限定グッズが買えるショップ、淡路島の食材を使用した本格的なレストラン&カフェも楽しめる。	素焼き絵付け体験：1,300円 砂絵体験：500円(5～15分) 乙姫のハローキティビニール焼き体験：600円	有	
4	静御前の墓	歴	源義経との悲恋で名をとどめる静御前終焉の地と言われ、御前の墓と伝わる石塔がある。女性がお参りすると縁結び、安産、技芸熟達のご利益があるといわれている。	—	有	
5	禅坊 靖亭	歴 景	淡路島の大自然、東経135度の地で禅体験ができる場。見渡す限り360度に広がる淡路島の四季折々の景色が味わえる。	日帰りプラン：23,000円(10:30-15:00) 禅坊料理・書道・香道・茶道などのコンテンツを組み合わせた日帰りリトリート体験 宿泊プラン：48,000円 日帰りプラン+「洗心」、木の香りが残る床、柔らかな光が差し込むガラス張りの窓を据え付けた部屋を提供	有	
6	こぞら荘	食	宿泊施設と焼き菓子店、おしゃれな雑貨店が集う複合施設。最高の景観を臨みながら、宿泊だけでなく買い物や食事を楽しむ。	—	有	
7	パルシェ 香りの館	レ 文 景	香りをテーマに情報発信する施設で、施設内には約100種類のハーブの大温室や摘み取り体験ができる大農園を備えている。香りの展示コーナーでは香りの歴史について学べ、ハーバリウム、香水など香りの手作り体験もできる。	手作り体験：900～2,500円(30～60分) ジェルキャンドル/石鹸/お香/香水/ハーバリウム/フラワーアレンジメント・リース作り 花の摘み取り/精油抽出	有	
8	淡路花さじき	レ 景	淡路島北部丘陵地域の頂上部、標高298～235mの海に向かってなだらかに広がる高原に四季折々の花畑が広がっている。	—	有	

No	施設名等	ジャンル	施設概要	体験内容・料金等	駐車場	写真
9	淡路島国営 明石海峡公園	レ 景	立体的にデザインされた関西最大級の花壇が見どころ。チューリップ、アジサイ、コスモス、クリスマスローズなど、四季折々多くの花々を見ることができる。	—	有	
10	淡路夢舞台	レ 文 景	土砂の採掘跡地を蘇らせることを目的に、世界的建築家安藤忠雄によって設計された複合施設。自然との共存をイメージさせる施設内には、100万枚の帆立の貝でできた貝の浜や日本最大級の温室「あわじグリーン館」など、四季折々の顔を持つ施設が点在している。	—	有	
11	兵庫県立 淡路島公園	レ 景	青い海の大パノラマや淡路島北部の丘陵地帯が広がる公園。森林浴にこそ安らぐエリアや、スリル満点の遊びのエリアなど、家族でとおきの時間が過ごせる。	森林浴/屋外遊び	☒ 有	
12	吹き戻しの里	文	国内産の約80%の「吹き戻し」を作っている工場で、日本唯一の「吹き戻し」の製作体験ができる見学施設。	吹き戻し製作体験：大人800円、子供400円（30～60分）	有	
13	farm studio	レ 景 食	淡路島の北部、大阪湾を見下ろす山の上に広がる段々畑やガラスハウスで、農家、パリスタ、カフェ店主、場を作る人、さまざまな人がこの場に広がる可能性を感じ探究しながら、活動をともしている。	農業体験	有	
14	千年一酒造	食	創業一四七年に渡る伝統的な蔵の雰囲気を感じながら、酒蔵の見学や淡路島でしか飲めない酒の試飲、購入ができる。	酒蔵見学・利き酒体験・ハッピー体験：無料	有	
15	北淡震災 記念公園	歴	野島断層をありのままに保存し、地震の凄まじさと脅威を感じて頂き、地震に備える大切さを伝える施設。	入館料：大人730円 中学生・高校生 310円 小学生 260円 揺れの体験 ※休止中	有	
16	五斗長垣内遺跡	歴 文	今からおよそ1,800～1,900年前の弥生時代後期に鉄器づくりを行っていたとされる、丘の上につくられた村の跡。平成24年9月には国史跡に指定されている。	鍛冶体験	有	
17	絵島	歴 景	淡路島の北端に浮かぶ島で、国生み神話に登場する「おのころ島」伝承地の一つ。海人が活躍した明石海峡を背景に、長年の風波に洗われ描き出された造形美がおのころ島に見立てられたと考えられている。古くから景勝地として知られ、多くの和歌にも詠まれている。	—	無	
18	アクアイグニス	レ 景	天然温泉と美味を堪能できる極上空間。淡路島の「癒し」と「食」をテーマにした、複合型天然温泉リゾート。	サイクリング	有	

No	施設名等	ジャンル	施設概要	体験内容・料金等	駐車場	写真
19	道の駅あわじ	食 景	淡路島の北端にある道の駅。世界一最長を誇った明石海峡大橋の絶景が眺められる抜群のロケーションにある。ご当地グルメとして淡路島生シラス丼、淡路牛バーガーなどを食べることができる。	—	有	
20	道の駅東浦ターミナルパーク	食 レ	飲食店、土産店の購入、陶芸体験、美術館での観覧、レンタサイクルなどが揃う道の駅。淡路島北部に立地しており三ノ宮や舞子からもアクセスが良く、淡路島を一周するサイクリングの起点にもなっている。	サイクリング、粘土細工、ろくろ、絵付け体験など	有	
21	そばカフェ生田村	食	平成23年4月から廃園の保育園を改修し、「そばカフェ生田村」をオープン。「挽きたて」「打ちたて」「湯がきたて」地元の畑で採れたそば粉で作る、こだわりのお蕎麦が食べられる。	そば打ち体験・試食	有	
22	乗馬クラブハーモニーファーム淡路	レ 景	馬に乗ったことがなくても、曳き馬で「あわじ花さじき」へ出かけることができる『花さじき散歩』コースが人気。海が見える広い馬場では、サラブレッドなどの大きな馬での本格的な乗馬体験も可能。	乗馬体験レッスン（30分） 平日4,400円、土日祝5,500円	有	

（２）洲本市における観光コンテンツ

● 景観・癒し要素 ● 歴史的要素 ● 文化的要素
● 飲食施設 ● レジャー施設

No	施設名等	ジャンル	施設概要	体験内容・料金等	駐車場	写真
1	淡路ごちそう館 御食国	食	淡路牛や島の海鮮など、淡路島のご当地グルメを堪能できる食事処。	—	有	
2	ドラクエ記念碑	文	洲本市民広場にあるドラゴンクエスト記念碑は、ドラクエ30周年を記念して建てられた。裏側には、洲本市出身でドラクエの生みの親である堀井雄二の手形、サインなどもある。	—	有	
3	洲本城跡	歴	山上一帯には洲本城跡があり、国指定史跡に挙げられている。戦国時代、三好氏の重臣安宅氏の築城に始まり、仙石秀久、脇坂安治が居城した。山頂の天守台からは洲本市街が一望できる。	—	有	
4	天然藍染工房 AiAi	文	ART×藍染がテーマの天然藍染工房。絞り染めを中心としたさまざまな藍染体験や、手染めした藍染のTシャツ、子供服、小物の販売などを行っている。	藍染体験：1,200～6,800円（約60分）	無	
5	シームーンリゾート	レ 景	関西最大級のマリンレジャー施設。定番のバナナボートやウエイクボードなど多彩なアクティビティがあり、隣接の『シーアイガ海月』では潮騒を聞きながらのバーベキューもでき、一日中楽しめる施設。	パラセーリング：8,000円 ジェットボート：3,000円（15分） トーイングチューブ：2,500（10分） ハリケーンボード：3,500円（10分）	有	

No	施設名等	ジャンル	施設概要	体験内容・料金等	駐車場	写真
6	ステンドグラス 工房ルヴェール	文	伝統的な技術を継承しながらも、現代的なデザインやアイデアを取り入れた美しいステンドグラス作品を制作している。	ステンドグラス作品作り体験：9,500円～ (約2時間30分)	有	
7	洲本レトロこみち	文	城下町・洲本の旧市街エリアは、レトロな雰囲気がそこかしこに溢れ、「洲本レトロこみち」と名付けられている。イベントでは、空家となっている古い町屋にカフェやアート作品の展示販売ブースが出店され、レトロでアートの雰囲気漂う「まち歩き」が楽しめる。	—	無	
8	大浜公園 大浜海水浴場	景 緑	歴史と風情漂う松や美しく開放感のある海と砂浜、周辺の三熊山の緑や美しい海岸線など、豊かな自然環境を有する。ビーチは、白砂青松と遠浅が特徴で、南北に750mあり、快水浴場100選に認定(平成18年環境省)されている。	—	有	
9	ウェルネスパーク 五色	レ 文 景 食	広大な公園内には、宿泊施設のほかに淡路島の偉人高田屋嘉兵衛の資料館「菜の花ホール」・温泉施設「ゆ〜ゆ〜ファイブ」・紙すきなどの各種体験ができる「夢工房」・屋内外テニスコートなど。	瓦粘土の陶芸体験：1,300円(約60分) ケナフの紙すき体験：1,100円(約60分) 染色体験：1,300円(約60分) 農園体験 など	有	
10	先山千光寺 岩戸神社	歴	伊弉諾尊(いざなぎのみこと)と伊弉冉尊(いざなみのみこと)の二柱の神が最初につくった山であることから、「先山」と名付けられたとされる。千光寺は先山の頂上につくられ、そのすぐ下方には天の岩戸に姿を隠した天照大神を祀る岩戸神社があります。豊かな自然の中にある国生み神話ゆかりの地である。	参拝：無料 国生み体験	有	
11	S BRICK	レ 文 食	かつて紡績工場としてまちの発展を支え、美術館として文化を発信してきた赤レンガの建物。洲本のゆたかな食を楽しむエリア、子どもたちが自由に過ごし人の縁を結ぶエリア、創作意欲を満たすエリアなど、暮らしの中の様々なシーンに寄り添う複合施設。	—	有	
12	成ヶ島 生石公園	景 歴	成ヶ島を見下ろす風光明媚な高台に位置する生石公園は、島内有数の梅の名所として知られている。かつての日本陸軍が要塞を築いた砲台跡や要塞の遺構が今も残り、その面影を残す。生石展望台は、大阪湾と紀淡海峡が一望でき、大阪や和歌山の町が望め、地元住民には朝日の名所として親しまれている。	見学：無料	有	

(3) 南あわじ市における観光コンテンツ

● 景観・癒し要素
 ● 歴史的要素
 ● 文化的要素
● 飲食施設
 ● レジャー施設

No	施設名等	ジャンル	施設概要	体験内容・料金等	駐車場	写真
1	沼島八幡神社	歴	永享8年(1436)梶原俊景が京都石清水八幡宮の分霊を阿万八幡宮を通じて勧請し創建したと伝えられている。全国的にも珍しい逆羅針盤が天井に奉納されている。	参拝：無料	有 ※土生港	
2	おのころ島神社	歴	おのころ島神社は、「国生み神話」に登場する「おのころ島」伝承地の1つとされている。古代の御原入江の中にあつて、伊弉諾命・伊弉冉命の国生みの聖地と伝えられる丘にあり、古くからおのころ島と親しまれ、崇敬されてきた。	参拝：無料	有	

No	施設名等	ジャンル	施設概要	体験内容・料金等	駐車場	写真
3	淡路島 濱田ファーム		家族で営む小さな農家。兵庫県南あわじ市で、あまい淡路島たまねぎをメインに、お米、季節の野菜を生産販売している。また、たまねぎの収穫体験など、農業体験も実施。	たまねぎ収穫・植え付け体験：2,000円（約40分）	有	
4	淡路島牧場		酪農の盛んな南あわじ市に位置する牧場。牧場ならではの乳搾り体験や搾り立ての牛乳でチーズやバター作り体験が可能。また、成分無調整の牛乳も無料で試飲できる。他にも、乳搾りや子牛への乳飲まし、バター作り、ポニー乗り体験ができる。	乳しぼり・バター作り（60分）： 大人（中学生以上）1,420円 小人（小学生以下）1,200円	有	
5	アグリ ミュージアム NADA		旧灘小学校を活用した地方創生事業を行っている。校庭では「校庭トマト」の栽培、各教室を用いたレストランの営業、宿泊、体験やワーケーションのための場所貸しなどを行っている。また隣接する旧駄菓子屋・江本商店を改修し、サイクリスト等の休憩所としている。	宿泊：3,300円 体験観光 美食観光	有	
6	神宮寺		元慶四年(880年)に開基された由緒あるお寺。梶原氏の菩提寺であったため、厨子、紺紙金泥経、曼陀羅など、数々の宝物は梶原氏により寄進されたと伝えられる。本堂の裏の傾斜地を利用し、岩盤を生かした「築山式枯山水庭園」は市指定史跡名勝天然記念物となっている。	—	有 ※土生港	
7	上立神岩		国生み神話ゆかりの場所で、高さ約30mの屹立する岩。イザナギとイザナミがオノコロ島に降り立ち、巨大な柱の周囲をまわって婚姻をおこなったという、「天の御柱」だともいわれている。	—	有 ※土生港	
8	灘黒岩水仙郷		花は一重咲きの野生のニホンスイセンが中心で、わずかに八重咲きの花も混じり、1月を中心に12月下旬から翌年の2月下旬まで付近一帯、甘い香りに包まれる花園。	※リニューアル工事のため令和3年～4年度は全面休園	有	
9	楓勇吉商店		淡路島の南端・福良で、寒冷な季節に、今も昔ながらの製法で大量生産せずに二昼夜かけて手作りで作られる、風味とコシのある高級手延べそうめん店。江戸時代、渡七平という漁師が伊勢参りの帰りに福良に持ち帰ったのがそのはじまりと伝えられており、現在は素麺づくり体験なども行っている。	素麺づくり体験：3,000円（90分）	有	
10	森崎製麺所		淡路伝統の職人技で製法した、昔ならではの手延べそうめんを製造している。	製造工程見学	—	
11	淡路国分寺		国指定重要文化財である本尊釈迦如来像は像高約3mあり、淡路一の仏像。全国で唯一の造立当初の本尊が残っている国分寺である。	拝観料：300円	有	
12	栄福寺		皮膚病に霊験あらたかな「瘡地藏」をお祀りするお寺として信仰を集めている。兵庫県指定文化的建造物の不動堂には湛海律師の作と伝えられる不動明王像が祀られている。	—	有	

No	施設名等	ジャンル	施設概要	体験内容・料金等	駐車場	写真
13	慶野松原	景	古くは柿本人麻呂により「万葉集」に詠まれた風光明媚で知られた景勝地。約5万本の淡路黒松が生い茂り、白い砂浜が約2.5kmにのびる瀬戸内海でも随一の白砂青松の松原。	—	有	
14	ゆとりっくうずしお温泉	景	美容効果の高い温泉施設。フィットネスクラブも併設しており、長時間滞在も可能な施設となっている。	お風呂：大人630円、小人310円、65歳以上520円、障害者半額	有	
15	淡路人形座	歴 文	淡路島には江戸時代の初期から昭和の初めまで大小様々な人形座があり、淡路島内だけでなく全国を興行して、人形浄瑠璃の魅力伝えてきた。その中の大座の一つ吉田傳次郎座の道具類を淡路人形座が継承し公演を行っている。	淡路人形浄瑠璃の観劇： 大人1,800円、中高生1,300円、小学生1,000円、幼児（3歳以上）300円	有	
16	淡路じゃのひれアウトドアリゾート	レ 食	「宿泊体験」「釣り体験」「食の体験」「イルカふれあい体験」「海上散歩体験」「農業体験」が楽しめる体験型複合アウトドア施設。	宿泊体験/釣り体験/食の体験/イルカふれあい体験/海上散歩体験/農業体験	有	
17	海釣り公園メガフロート	レ	福良沖に浮かぶ海釣り公園。季節を問わず様々な魚を釣ることが可能となっている。	海釣り：有料	有	
18	丸山海釣り公園	レ 景	鳴門海峡に面した丸山漁港内の周囲250mの弁天島が釣り場となっている。アーチ型の太鼓橋を渡り、島の中の遊歩道を通って釣台へ行くことになり、夕日も美しく、釣りをしない方も観光スポットとして楽しむことができる。	海釣り：有料	有	
19	安富白土瓦「かわらや」	レ 文 食	瓦での彫刻体験や農業体験をしたり、瓦焼きを食べることができる。	彫刻体験：1,800円(約1時間) 農業体験	有	
20	GALLERY土坐	文	空間すべてが土と瓦に包まれたGALLERY & Café。瓦本来の魅力発信とともに、新しい可能性を追求してさまざまな姿にカタチを変えた「monokawara」ブランドを展開している。	本格瓦コースター作り体験：3,000円	有	
21	道の駅福良	レ 食	世界一の大きさのうずしおを楽しめる「うずしおクルーズ」の発着場にもなっている道の駅。高速バスターミナルにも近く非常に利便性が高い。無料の足湯が完備されていたり、淡路人形座と隣接しているなど観光施設が集約している場所となっている。	足湯、クルーズ体験	有	
22	道の駅うずしお	食 景	淡路島南西端に位置し、淡路島と四国をつなぐ大鳴門橋を望める道の駅。全国ご当地バーガーの中でグランプリを獲得したあわじ島バーガーや、玉ねぎに特化したお土産品などを販売しており、淡路島らしい商品の購入ができる。	—	有	

(4) 淡路島で体験可能な主な海事観光コンテンツ

①旅客船

淡路ジェノバライン

●運航事業者

- ・株式会社淡路ジェノバライン

●運航ルート

- ・明石港（明石市）と岩屋港（淡路市）を結ぶ定期航路

●運航時間

- ・5時（土日祝日は6時）～23時台に1時間あたり1～3便が運航（所要時間約13分）

●運賃

区分		運賃(円)	
		～令和5年3月末	令和5年4月～
片道運賃	大人	550	600
	小人	280	300
障がい者割引		280	300

※上記の他、団体（15名以上）割引、通勤通学定期、自転車持ち込み料金等あり

●航路図



●使用船舶

- ・まりん・あわじ
- ・まりーんふらわあ2
- ・レットスター2
- ・ジェノバI



(参考) <http://www.jenova-line.co.jp/index.php>

沼島汽船

●運航事業者

- ・沼島汽船株式会社

●運航ルート

- ・土生港（南あわじ市）と沼島を結ぶ定期航路

●運航時間

- ・6時～19時台に1便／時（所要時間約10分）

●運賃

区分	大人（円）	小人（円）
片道	480	240
往復	920	460

●使用船舶

- ・しまかぜ
- ・しまちどり

●航路図



（参考）<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/soshiki/kyoudou/nusima1.html>

②クルーズ船

明石海峡大橋クルーズ

●運航事業者

- ・ジョイポート淡路島株式会社

●運航ルート

- ・岩屋港（淡路市）発着、野島沖周遊

●運航時刻

- ・1日3便（火～木は概ね休航）（所要時間約75分）
- ・冬季運休あり（2022年シーズンは2022年11月29日（火）～2023年2月28日（火））

●運賃

区分	料金（円）
大人（中学生以上）	2,500
子供（小学生）	1,000
幼児（小学生未満）	大人1名につき1名無料 ※大人の人数を超えた分は子供料金

※Web予約割引、障がい者割引あり

●航路図



●使用船舶

咸臨丸

●概要

- ・明石海峡大橋の真下を通り抜けるコースを、船上ガイドが見所をわかりやすくアナウンス



（参考）<https://awajisima-cruise.com/>

うずしおクルーズ

●運航事業者

- ・ジョイポート淡路島株式会社

●運航ルート

- ・福良港（南あわじ市）発着、鳴門大橋周遊

●運航時間

- ・1日3～7便（所要時間約60分） ※うずの状態による変動時刻表
- ・うずしおの見頃の時刻表あり

●運賃

区分	料金（円）
大人（中学生以上）	2,500
子供（小学生）	1,000
幼児（小学生未満）	大人1名につき1名無料 ※大人の人数を超えた分は子供料金

※障がい者割引、団体割引あり

●航路図



●使用船舶

咸臨丸、日本丸（臨時便、チャーター便、貸切便に使用）

●概要

- ・揺れが少ない船で、世界最大級のうずしおを間近で見ることができる



（参考）<https://www.uzu-shio.com/>

おのころクルーズ

●運航事業者

- ・沼島の各漁船

●運航ルート

- ・沼島島内発着・島を一周

●運航時間

- ・09:00～17:00 の間で、希望の運航日時による（ほぼ無休）
- ・所要時間約 50 分
- ・前日までの事前予約制
受付時間：09:00 ～ 17:00（火・金休み）、水・木は 09:00～12:30

●運賃

区分	料金（円）
大人	3,000
子供	1,500
小学生未満	無料 ※2名で小学生料金

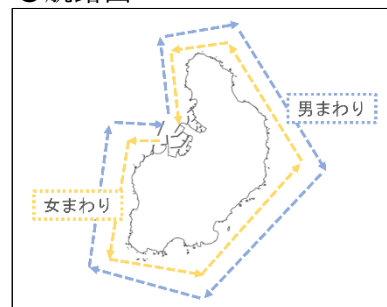
※団体料金（15 名以上）あり。1 名からでも可能だが、運航には最低 7,000 円が必要

●概要

- ・船長（地元漁師）が奇岩などの見どころを解説



●航路図



（参考） お問い合わせ・お申し込み(9:00～17:00) 電話 050-3187-5040

③マリンアクティビティ

島内マリンアクティビティ事業者の概要は下記の通りである。

事業者	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	その他
シーアイガ海月	●			●	●	●	●		
じゃのひれ SUP		●						●	ドルフィンスイム
けいの SUP		●							
海と和		●	●						
淡路島アウトドア ビレッジ・ 淡路島カヤック &SUP 教室		●	●						キャンプ、カヤック、フィッシング、 キャンピングカー
MOONJELLY AWAJIRESORT		●				●			キャンプ、 バーベキュー

①パラセーリング

…パラシュートを付けた人間が、ロープでモーターボートや自動車に引かれて空中 7, 80 メートルまで舞い上がるスポーツ。

②パドルボード (SUP (スタンドアップパドルボード))

…ボードの上で立ってパドルを漕ぎ、海や川の水面を移動するアクティビティ

③シーカヤック

④ジェットボート

⑤ハリケーンボード…水上バイクで引っ張るトーイングチューブ

⑥ウェイクボード

…スノーボードに似た板に乗ってモーターボートに取り付けたロープの持ち手を握り、ボートに引かれながら水上を滑走するスポーツ

⑦トーイングチューブ

…水上バイクなどでえい航して遊ぶ円形の浮体 (浮き輪)

⑧フリースタイルアイランドボート

④その他

ア. 漁業体験

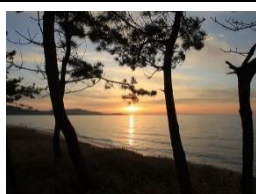
事業者	内容	備考
釣船 内良	・シラス漁体験 ・刺し網・タコ壺体験 ・獲れた魚は持ち帰り可。獲りたての生シラス、釜揚げやつくだ煮などで作る漁師料理をサービス	
仮屋漁業協同組合	・底引き網漁業体験	4月上旬～11月上旬
民宿 大倉荘	・淡路島仮屋底引き網観光 ・昼に獲った魚を港で食べられる	現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止中

イ. 釣り

施設名	特徴	備考
淡路観光ホテル	ホテル宿泊者用のプライベート釣り場	釣り場
じゃのひれアウトドアリゾート		釣り堀
南あわじ市丸山海釣り公園		釣り場

ウ. 海水浴場

淡路島は海に囲まれており、数多くの海水浴場が存在する。中でも特に美しい場所として、環境省が選定した快水浴場百選に選ばれている海水浴場を整理する。

海水浴場名	市町村	特徴	写真
浦県民 サンビーチ	淡路市	大阪湾を一望でき、紀伊水道に浮かぶ島々が蜃気楼による浮島として眺められる。	
大浜海水浴場	洲本市	白砂青松と遠浅が海浜の特徴で、波もなく穏やかなビーチなので、小さな子供連れの家族も安心して楽しめる。	
慶野松原 海水浴場	南あわじ市	瀬戸内海随一の白砂青松地。夏には花火大会なども開催されている。	

*各コンテンツについては、例として代表的な施設等を記載。

2 観光コンテンツを組み合わせたツアー提案

③日本のアニメ文化と明石海峡を楽しむ



③HELLO KITTY SMILE

⑨パルシェ香りの館

明石海峡大橋

③明石海峡クルーズ

⑨国立明石海峡公園

③ニジゲンノモリ

⑨あわじ花さじき

⑩farm studio

⑩吹き戻しの里

⑩思い出が生まれる
体験の旅



②国生み神話をたどる



②伊弉諾神宮

⑩淡路島牧場

④淡路島玉ねぎの産地

①福良商店街

①⑩うずしおクルーズ

①大鳴門橋

⑧淡路のマリンアクティビティを遊び尽くす！

⑧こぞら荘

⑧シーアイガ

③ドラクエ記念碑

⑥深日洲本ライナー
(~11月まで実証運航)

⑩すもとレトロこみち



⑥歴史を感じる！泉南ー淡路島間の 航路と淡路往還道サイクリング



①陸から海からうずしおを楽しみ 海鮮に舌鼓を打つ



⑤淡路の生活を知る！漁業体験



④淡路の生活を知る！ 玉ねぎ収穫体験&酪農体験



⑦“淡路の食”と心身ともに安らぐ体験



⑨淡路花めぐり



テーマ①	陸から海からうずしおを楽しみ、海鮮に舌鼓を打つ		
ターゲット	日本の海鮮に興味を持つ インバウンド	ツアー概算費用	50,000～60,000 円
関係事業者	観光事業者、クルーズ事業者、宿泊事業者、福良地区の各種店舗、 地域団体など		
ストーリー			
1 日目のメインコンテンツは、世界一の大きさともいわれる鳴門のうずしお。大鳴門橋の上を歩き、<u>地上からのうずしおを楽しむコンテンツ</u>と、船に乗って<u>目の前で生まれるうずしお</u>を体感するコンテンツを掛け合わせるにより、うずしおの良さや迫力をより存分に味わっていただきます。 夜は旅館にて福良の 3 年とらふぐに舌鼓を打ちます。<u>実際に養殖を行っている漁業者の方とともに、なかなか味わうことのできない貴重なふぐを味わいながら楽しい夜を過ごします。</u> 2 日目は、福良のまちをぶらりお散歩。昔ながらの商店街と、活気あふれるチャレンジモール周辺を気の向くままにぶらりお散歩する時間を設けます。			
特長			
・ツアーの特性を生かし、うずしおを複数視点から楽しむ ・地元の水産業者と直接触れ合うことで水産業を知り、消費によって水産業者に還元する ・地元の商店街での消費行動造成			
ルート			
〈1 日目〉 関西国際空港集合、バスにて移動 ・渦の道 海上散歩 ・うずしおクルーズ 等 ・水産業者と 3 年とらふぐを楽しむ ・福良周辺の旅館に宿泊 等		〈2 日目〉 ・海沿いの街並みを散歩 ・特産品直売所での朝市をめぐる 等 ○福良のまちなかを散策 ・商店街の飲食店で食べ歩き ・チャレンジショップでお昼ご飯 ・道の駅福良でお土産購入 等 関西国際空港へ移動、解散	
ツアーのみどころ			
 地上からも船の上からも楽しむ、うずしお満喫ツアー  淡路島の逸品、3 年とらふぐに舌鼓をうつ。  昔ながらの街並みと近年出店されているチャレンジショップ等が融合した福良のまちを散策。			

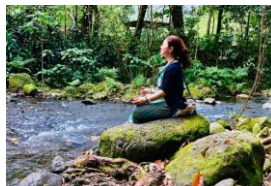
テーマ②	国生み神話をたどる		
ターゲット	神話に興味のあるインバウンド、50～60代の日本人客	ツアー概算費用	25,000～30,000 円
関係事業者	神社関係者、旅客船事業者、宿泊事業者、クルーズ実施主体、飲食店、沼島地区組織など		
ストーリー			
淡路島における唯一無二のコンテンツ、<u>国生み神話をたどる</u>ルート。 はじめに式内社であり、淡路島における国生み神話の中心ともいえる伊弉諾神宮を参拝。本名宮司により日本のはじまりの地・淡路島の物語を語り聞かせていただきます。その後、舞台はおのころ島・沼島へ。沼島八幡神社の拝殿に上がり、<u>ツアー参加者のためだけのご祈祷を受けていただきます。</u> 2 日目は沼島の周りにある物語を持ったポイントをめぐる船旅へ。<u>地元のガイドさんに物語を語ってもらいながら</u>、沼島の周囲 10km を楽しみます。最後にさらにイザナギノミコト、イザナミノミコトの両柱が祀られるおのころ神社を参拝して、神話を楽しみつくします。			
特長			
・淡路島の国生み神話にまつわるスポットをめぐるツアー ・沼島八幡神社にて、実際のご祈祷を受ける体験 ・地元のガイドによる沼島の案内			
ルート			
〈1 日目〉 関西国際空港集合、バスにて移動 ・伊弉諾神宮参拝、神職の語り聞かせ ・沼島八幡神社でのご祈祷 ・沼島八幡神社内鎮守の森散策 等 ・沼島の魚料理を味わう ・海ホタルの観察 等 〈2 日目〉 ・海水浴場を散歩 ・上立神岩までお散歩して登る 等 ・おのころクルーズで沼島一周 ・沼島にまつわる物語を沼島島民から語り聞かせ ・おのころ神社参拝 等 関西国際空港へ移動、解散			
ツアーのみどころ			
 伊弉諾神宮、沼島八幡神社、おのころ神社。淡路島の国生み神話にまつわる場所を巡ります。  テレビ番組でも紹介された沼島の奇岩・上立神岩などをおのころクルーズで海側から楽しめます。			

テーマ③	日本のアニメ文化と明石海峡を楽しむ		
ターゲット	アニメが好きな インバウンド	ツアー概算費用	30,000～35,000 円
関係事業者	アニメ文化にまつわる施設運営事業者、飲食店、温浴施設事業者、 ゲストハウス運営者、クルーズ事業者など		
ストーリー			
近年、外国人から高評価を受けているのが日本の<u>アニメ文化</u>。淡路島には、ドラクエ記念碑やニジゲンノモリ、HELLO KITTY SMILE などアニメにまつわるコンテンツがたくさんあります。 まずはドラクエ記念碑を求めて洲本へ。記念碑で写真撮影をしたのち、<u>古来、御食国と呼ばれていた淡路の味</u>を昼食にいただきます。午後は明石海峡大橋クルーズに乗り、絶景の明石海峡大橋に加え、海側から HELLO KITTY SMILE を堪能します。夜はゲストハウスに泊まり、周辺にいくつもある温浴施設に入浴。そして目の前に広がるライトアップされた明石海峡大橋を堪能していただきます。 翌日はニジゲンノモリを訪れ、アニメ要素を目いっぱい楽しめます。			
特長			
・ 淡路島にあるアニメ文化を活かした、インバウンドをターゲットとしたツアー ・ 御食国と呼ばれる淡路島の食に触れる			
ルート			
〈1日目〉 関西国際空港集合、バスにて移動 ・ドラクエ記念碑で写真撮影 ・御食国の食事処で昼食 ・明石海峡大橋クルーズ、海側からの HELLO KITTY SMILE を楽しむ 等 ・ゲストハウス泊、周辺の温浴施設を楽しむ ・ライトアップされた明石海峡大橋 等		〈2日目〉 ・明石海峡大橋周辺の海沿い散歩 等 ○ニジゲンノモリを目いっぱい楽しむ ・ドラクエのクエスト挑戦 ・ゴジラ迎撃作戦に参加 ・モリノテラスでゆったりと食事 等 関西国際空港へ移動、解散	
ツアーのみどころ			
 淡路はアニメのコンテンツが豊富。クルーズでアニメ施設を楽しむ、他にはない体験ができます。 淡路島は都に食料を貢ぐ御食国として栄えました。御食国の食事処で淡路島の名産品を楽しめます。			

テーマ④	淡路の生活を知る！玉ねぎ収穫体験&酪農体験		
ターゲット	小学生の子どもがいる 家族連れ	ツアー概算費用	15,000～20,000 円
関係事業者	旅客船事業者、農業協同組合、酪農牧場、島内の玉ねぎ農家、 地域の料理上手な主婦など		
ストーリー			
淡路島と言えば玉ねぎ！という印象を持っている方も非常に多いと思います。そんな玉ねぎを<u>ただ食べるだけではなく、玉ねぎ農家を訪問し、収穫体験や玉ねぎ小屋に吊るす体験</u>をしてもらいます。収穫した玉ねぎはお土産に持って帰ってもらうことで、帰ってからも淡路島の味を楽しんでもらいます。 夕食では、淡路島と市販の<u>玉ねぎの食べ比べ</u>。普段何気なく食べていると意識しないかもしれませんが、食べ比べてみると段違いの甘さを楽しむことができます。 2 日目は朝から淡路島牧場を訪問。乳しぼり体験、ポニー乗馬体験、淡路島牛乳を用いたソフトクリームを堪能するなど、<u>酪農の魅力にも触れてもらいます</u>。			
特長			
・淡路島の特産品である玉ねぎと淡路島牛乳を知り、生活体験を行う ・味の違いを知ってもらい、今後の継続的な消費につなげる			
ルート			
〈1 日目〉		〈2 日目〉	
○ジェノバラインを利用し、淡路島へ ○玉ねぎ農家訪問体験 ・収穫作業体験 ・玉ねぎ小屋に吊るす作業体験 ・畑の管理体験 等 ・淡路の玉ねぎ食べ比べ ・農家さんの家に宿泊する体験 等		・とれたて野菜を使った朝食づくり ・直売所での野菜購入 等 ○淡路島牧場 ・乳牛の乳しぼり体験 ・ポニー乗馬体験 ・バター手作り体験 等 ○ジェノバラインを利用し、明石へ、解散	
ツアーのみどころ			
			
一度は聞いたことのある淡路島の玉ねぎ。収穫、玉ねぎ小屋へ吊るすなどの体験をして淡路の農業を感じていただきます。		  淡路島牧場での乳しぼり体験。酪農も淡路島の代表的な生業の一つです。	

テーマ⑤	淡路の生活を知る！漁業体験		
ターゲット	小学生の子どもがいる 家族連れ	ツアー概算費用	15,000～20,000 円
関係事業者	旅客船事業者、漁業協同組合、底引き網漁業者、遊漁船運航者、 魚の料理が得意な地域の住民など		
ストーリー			
海に囲まれている淡路島は、漁師町として栄えてきた集落もたくさんあります。タマネギなどの農産物と並んで、海産資源の豊富さは淡路島が御食国と呼ばれる所以の一つです。そんな <u>漁業を体験してもらうツアー</u> を淡路島の最南端、沼島で実施。 <u>陸釣りだけではなく、船釣りと底引き網漁の体験</u> もしていただき、夕食は獲った魚を <u>自ら捌いて食べる体験</u> をします。			
特長			
・水産業に触れ、自分で獲って調理する楽しみを感じられる ・船釣り体験に加え、普段体験することのできない網を用いた漁も体験し、実際の漁業を知ってもらう			
ルート			
〈1日目〉 三ノ宮集合、バスにて移動		〈2日目〉	
○沼島汽船乗船、沼島港へ ○漁業の体験 ・底引き網体験 ・夕方の陸釣り 等		・陸にて朝釣り 等	
・自ら獲った魚を調理する体験 ・漁師飯&BBQ を食す 等		○漁業体験の続き ・釣り船に乗って船釣り体験 ・仕掛けの作り方勉強会 等 ○沼島汽船に乗船、土生港へ	
		三ノ宮へ移動、解散	
ツアーのみどころ			
    1泊2日の漁業三昧体験。船、陸など様々な場所での釣り体験に加え、網での漁も経験していただきます。			

テーマ⑥	歴史を感じる！泉南－淡路島間の航路と淡路往還道サイクリング		
ターゲット	歴史好きなインバウンドやサイクリスト	ツアー概算費用	10,000～15,000 円
関係事業者	旅客船事業者、洲本観光案内所、神社関係者、道の駅福良、宿泊事業者など		
ストーリー			
江戸時代から明石海峡大橋ができる前までは、泉南から淡路島へ向かう航路が一般的に利用されているルートでした。また、淡路島には<u>淡路往還道</u>と呼ばれる島内の主要な港町を結ぶ一般の街道に近い道がありました。本ルートはこれらを組み合わせ、<u>今ある施設だけを見ていてはめぐることのないルートをめぐってもらい、淡路をより深く知ってもらうことを狙い</u>としています。 現在、深日－洲本間を期間限定で高速船が運航しており、高付加価値化の一環として<u>サイクリング</u>に注目しています。江戸時代からの航路を渡り、サイクリングで自由に淡路往還道をめぐるツアーを今回提案することで、ゆくゆくは<u>熊野古道－（航路）－淡路島－（航路）－徳島（阿波）の京阪神側を通らないルートの確立</u>を図ります。			
特長			
・社会実験中の深日洲本ライナーを活用したサイクリングルート ・淡路往還道沿いの地元施設を訪れ、地域の人との交流が生まれることを期待			
ルート			
〈1日目〉		〈2日目〉	
○深日洲本ライナー乗船、洲本へ ○サイクリングで淡路一周 ・洲本城跡訪問 ・おのころ島神社参拝 ・福良港周辺散策 等		○早朝サイクリング ・涼しい時間帯の海沿いを走る 等	
・ゲストハウス宿泊、昔だけではなく最新の淡路島も知る 等		○サイクリングで淡路一周続き ・松帆の浦、絵島周辺を散歩 ・静御前の墓 来訪 ・道行く途中の土着的な料理店で昼食 ○深日洲本ライナー乗船、深日港へ	
ツアーのみどころ			
 現在期間限定運航している深日洲本ライナー。江戸時代から泉南と淡路島の間には航路があり、歴史的なルートを利用したツアー造成が考えられる。		  淡路往還道沿いには、おのころ神社や洲本城跡をはじめとして、歴史や由緒あるスポットが数多くある。ルートを限定せず、各々の好みに応じて自転車で周遊し淡路島の魅力を感じられるようにする。	

テーマ⑦	“淡路の食”と心身ともに安らぐ体験		
ターゲット	30代の女性	ツアー概算費用	20,000～25,000円
関係事業者	島外の有名シェフ、宿泊体験事業者、寺社関係者、船舶運航事業者など		
ストーリー			
“ストレスが多く、リラックスしたい”“自然の中で自分を見つめたい”“ヨガや瞑想で心身をデトックスしたい”と感じている神戸と大阪の都心部で、働き盛りの女性2人組。年は30代で普段あまり運動ができず、ぽっこりしたお腹を凹ましたい。自宅でストレッチなど美容には敏感。趣味は温泉旅行や美味しい食をいただくこと。<u>有名ホテルの「世界一の朝食」</u>は二人のお気に入り。できれば都心から離れて、自然の中でのリトリート・お寺などで座禅体験などしながら、心身ともに癒される日々をルーティーン化したいと考えています。淡路島から船にのって目指すは「国生みの島・沼島」へ。<u>地域にゆかりのある事業者と連携した美食・体験企画</u>を実施します。 ※現時点では新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドはほとんど見られないが、大阪万博や姫路（姫路城）、徳島へ来訪する外国人観光客を中心に、将来的なインバウンドへの活用も見据えた広域観光ツアー商品も検討する。			
特長			
・農家と連携して企画したお寺での食事体験 ・“多様性に満ちた食（フードダイバーシティ）”を意識した世界標準の精進料理			
ルート			
<1日目> 三ノ宮集合、バスにて移動 ・沼島汽船乗船、沼島港へ ・神宮寺での美容体験 ・沼島内自然・庭園を散策 等 ・自ら獲った魚を調理する体験 ・漁師飯&BBQを食す 等		<2日目> ・淡路食材を用いた、美食メニューとして調理された朝食を食す 等 ○自然を感じるリトリート体験 ・船に乗り、島の裏側の砂浜へ移動 ・砂浜で自然を感じる体感リトリート ○沼島汽船乗船、土生港へ 三ノ宮へ移動、解散	
ツアーのみどころ			
 日本ボディスタイリスト協会監修の「自然を感じる体感リトリート」		 沼島の神宮寺でプロの美容技術を習得	
		 シェフ監修の淡路の精進料理や淡路島内外のフレンチ・イタリアン・和食のシェフや、料理研究家をお招きして、美食会を実施する。	
			

テーマ⑧	淡路のマリンアクティビティを遊び尽くす！		
ターゲット	10～20 代の大学生	ツアー概算費用	10,000～15,000 円
関係事業者	マリンアクティビティ事業者、民宿事業者、雑貨店など		
ストーリー			
海といえばマリンスポーツ！という若者を対象としたコンテンツ造成です。淡路島各地にある、海水浴場でのマリンアクティビティを中心として、BBQ など夜までワクワクするようなコンテンツを繋ぎます。また海沿いの民宿に宿泊することで、荷物を持ち運ぶ必要がない・海に入った後にいつでもシャワーなどを利用できるというメリットもあり、<u>民宿側も集客の増加</u>が見込めます。 2 日目は雑貨店などを訪れ、<u>淡路島でこだわりを持って取り組んでいる事業者</u>の手作りパンや雑貨購入を楽しみます。			
特長			
・周囲が海に囲まれている淡路島でのマリンスポーツ、BBQ など若者向けコンテンツ ・民宿などの島内小規模旅行者への好影響を期待 ・雑貨や手作りパンなど、さまざまな手作りコンテンツに触れる			
ルート			
〈1 日目〉 三ノ宮集合、バスにて移動 ○マリンコンテンツを楽しむ ・パラセーリング ・ジェットボート ・ハリケーンボート 等 ・BBQ ・アクティビティ施設周辺民泊での宿泊		〈2 日目〉 ・海沿いを散歩 ・民宿の朝食を楽しむ 等 ○雑貨屋さん散策 ・手作り品を楽しむ ・おやつを購入、お散歩 ・ゆったりカフェ、昼食 など 三ノ宮へ移動、解散	
ツアーのみどころ			
    マリンスポーツ、BBQ など夏を満喫できるコンテンツを楽しみます。 雑貨屋さんやおしゃれなカフェは大学生御用達。おしゃれな空間でゆったりとした時間を過ごします。			

テーマ⑨	淡路花めぐり		
ターゲット	30代の女性	ツアー概算費用	20,000～25,000円
関係事業者	淡路島観光協会、フラワーパーク運営事業者、生け花の先生、宿泊事業者など		
ストーリー			
淡路島は知る人ぞ知る<u>花どころ</u>です。淡路花さじきをはじめとして、北部にはパルシェ香りの館のハーブ農園や淡路島国営明石海峡公園、淡路夢舞台など多様。南部では季節限定ではありますが灘黒岩水仙郷などが大迫力です。ただ花を目で見て楽しむだけではなく、香水・キャンドルづくり体験などを通じて<u>五感で楽しむツアー</u>です。 淡路島の花どころの魅力は、背景が海である場所が多いこと。<u>花×海の絶景めぐりを楽しむ</u>、フォトジェニックな写真を撮っていただけます。 花どころは経済的に厳しい場所もあり、継続が困難となり廃業した施設もあります。観光客が訪れ、淡路島の花どころへお金が落ちることが、<u>淡路島の美しい景観継続</u>に繋がります。			
特長			
・淡路花さじき、灘黒岩水仙郷など、淡路の花スポットを回りつくし、自然に対する愛着を深める ・花スポットを訪れる方が増えることで、淡路島の環境保全・美しい景観継続につながる			
ルート			
〈1日目〉 三ノ宮集合、バスにて移動 ○灘黒岩水仙郷にてハイキング ○パルシェ香りの館 ・オリジナル香水作り体験 ・ジェルキャンドル作り体験 等 ・旅館に宿泊 ・生け花体験 等		〈2日目〉 ・淡路花さじき散策 ・地域の特産品売場でお買い物 等 ○淡路島国営明石海峡公園散策 ○淡路夢舞台散策 ○兵庫県立淡路島公園散策 など気ままに自由な時間を過ごす 三ノ宮へ移動、解散	
ツアーのみどころ			
 淡路花さじき		 淡路島国営明石海峡公園	
 パルシェ香りの館		 灘黒岩水仙郷	

テーマ⑩	思い出が生まれる体験の旅		
ターゲット	小学生の子どもがいる親子	ツアー概算費用	20,000～25,000 円
関係事業者	各種体験コンテンツ実施事業者、クルーズ事業者、飲食事業者、宿泊事業者など		
ストーリー			
小学生の子どもがいる<u>親子</u>にターゲットを絞り、様々な体験コンテンツを盛り込んだ特別ツアーです。吹き戻しや藍染体験で、実際に自分で作った作品は<u>旅の思い出</u>として残ります。farm studio では、普段はできない“畑で遊ぶ”体験を通して、大人も童心に戻ってのびのびと過ごすことができます。また、焼き芋やいちご狩り等、季節に応じて淡路の食を感じる体験ができます。また1日目の終わりには、うずしおクルーズに乗船して世界最大級のうずしおを見られるのは<u>淡路島</u>ならではの体験です。 ツアーの途中には、福良散策やすもとレトロこみちでの自由時間を設け、自分のお気に入りのお店やお土産を探しながら、ツアー限定のフォトラリーを楽しみます。 家族で過ごした淡路島での数々の体験は、ツアーが終わってからも<u>思い出</u>として残り、また<u>淡路島</u>に来たいと思わせてくれるはずです。			
特長			
・様々な手作り体験や、ツアー限定の企画を盛り込むことで思い出に残る特別な体験となる ・ツアーの行程にカメラマンを同行させることで、普段は撮れない家族全員の写真を残すことができる			
ルート			
<1日目> 三ノ宮集合、バスにて移動 ○吹き戻しの里 ○畑の中で昼食 ○福良散策 ○うずしおクルーズ ・ホテルに宿泊 等 <2日目> ・すもとレトロこみち散策 ・フォトラリー等を楽しむ ○淡路島牧場 ・乳牛の乳しぼり ・バター手作り ○藍染体験 等 三ノ宮へ移動、解散			
ツアーのみどころ			
 うずしおクルーズ  吹き戻しの里  藍染体験			

3 モニターツアー催行及び参加者アンケート調査

第2章でのツアー提案をもとに関係者間で協議するとともに、受入れ施設等への確認を行い、催行するモニターツアー（2本）を決定した。

なお、ツアーの効果検証等に活用するため、それぞれツアー参加者に対し、アンケート調査を実施するものとした。

（1）国生み神話の舞台を周遊！スピリチュアルアイランド淡路島体感モニターツアー

① ツアー選定理由

日本最古の歴史書である『古事記』の冒頭を飾る「国生み神話」の中で、最初に誕生するのが淡路島であり、日本遺産にも認定された「国生みの島・淡路」のストーリーは他地域にはなく、強い求心力を持つコンテンツと言える。

中でも、国生み神話に登場する「伊弉諾尊(イザナギ)と伊弉冉尊(イザナミ)」の二神を祀り、神々しい趣の「伊弉諾神宮」や古来「自凝島（おのころじま）」の伝承が残り、神話にまつわる奇岩・逸話等がある「沼島」は、悠久の歴史を体感できるパワースポットとして観光誘客のキーコンテンツとなり得るものである。

これらを中心とした淡路島特有の魅力を持つツアーは、インバウンドを含む観光客による需要が期待されることから、本調査における催行ツアーとして選定した。

具体的なツアー内容については、前述の国生み神話の舞台を周遊する中で神秘的な大自然を舞台とした「リトリート体験」や古代に想いを馳せる「ものづくり体験」、「御食国」に代表される豊かな地場食材を使った食事に加え、海上から沼島を見学する「おのころクルーズ」などを組み合わせた構成とした。

また、淡路島の観光宿泊施設は、新鮮な魚介類等を提供する中～高価格帯のものが多く、結果的に、ある程度の収入がある中高年層の受け入れが主体となっているが、若年層への需要喚起を図るための宿泊形態となるよう工夫した。

②実施概要

【日程】令和4年11月26日（土）～27日（日）

【募集人数】20名

【参加者数】13名

【メインターゲット】20～30代の女性

【参加費用】10,000円（ドミトリタイプに宿泊の場合）

15,000円（和室タイプに宿泊の場合）

【行程】1日目：伊弉諾神宮～淡路ごちそう館 御食国～ものづくり体験～アグリミュージアム NADA 宿泊

2日目：沼島来訪～おのころクルーズ・沼島八幡神社～民宿お食事処あさやま～沼島散策・リトリート体験（選択制）

スピリチュアル
アイランド
淡路島

体感モニターツアー参加者募集！

国生み神話の舞台を周遊！

企画・協力：ランドブレイン株式会社

※本ツアーは、国土交通省神戸運輸監理部の淡路島における魅力的な海事観光ツアー造成調査を活用して実施するものです。

日程 11/26^土 27^日 (1泊2日)	定員 20名 先着順	申込締切 11/13^日
参加費 ドミトリ(お一人様) 10,000円 和室(お一人様) 15,000円 2人～4人で参加される場合のみ	旅行費用に含まれるもの ・島内移動費(バス代)、沼島渡航費 ・お食事 朝食① 昼食② 夕食① ・宿泊費・体験プログラム参加費・保険料	

“なぜ淡路島が国生み神話の舞台になったのか”

日本で最古の歴史書『古事記』の冒頭を飾る「国生み神話」。

その中で最初に生まれたとされるのが淡路島。

「なぜ淡路島が国生み神話の舞台になったのか？」

淡路島の食、自然、暮らしをたどりながら、その答えを解き明かすモニターツアーです。

※ご参加頂いた方には、ツアーに関するアンケートへのご協力をいただきます。

モニターツアー募集チラシ〔表〕

伊弉諾神宮参拝、おのころクルーズ、銅鐸づくり体験等、 淡路の魅力をギュッと詰め込んだ秋の満喫1泊2日！

※食事や体験プログラムの写真はイメージです。

11/26(土)

09:30

JR三ノ宮駅集合
バスで淡路島へ

12:30~14:00

淡路ごちそう館
「御食国」のランチ

かつて御食国と言われ、朝廷に食を献上していた淡路島。地場産食材を使用した淡路の食を堪能します。

15:00~

アグリミュージアムNADA



旧灘小学校を廃校活用した体験型宿泊施設。ここでは、ものづくり体験や自家製野菜等を使った夕食を楽しめます。

ご宿泊のお部屋はドミトリーと和室からお選びいただけます。



ドミトリー



和室

10:30~12:00

伊弉諾神宮



古事記・日本書紀の冒頭「国生み神話」に登場する最古の神社。本名佑至権禰宜より「国生み神話」について学び、御神楽を奉納いただきます。

16:00~

ものづくり体験プログラム



2000年以上前の弥生時代に作られた銅鐸がここ淡路島で発見されました。

銅鐸づくり体験を通して、古代に想いを馳せ、淡路の歴史を紐解きます。

18:00~

夕食



11/27(日)

開

07:00

朝食

08:30

沼島へ出発

09:30~11:30

沼島での体験プログラム

おのころクルーズ



地元漁師の案内で、国生み神話にまつわる各種スポットや世界でも珍しい地層を巡る海上周遊体験です。

沼島八幡神社



おのころ島とされる地での祈禱を行いながら国生みや淡路島の歴史にまつわる絵馬を神職より紹介します。

12:00~13:30

民宿お食事処「あさやま」でランチ

13:30~15:30

沼島での体験プログラム

沼島散策またはリトリート体験のどちらかをお選びいただけます。

沼島散策



地元ガイドと共に淡路島屈指のパワースポットである沼島を巡り、神話伝説の浪漫に触れます。

リトリート体験



沼島の自然の中で、インストラクターとともに普段無意識にしている呼吸を意識することで、日常生活から離れ、疲れた心や身体を癒す時間を過ごしていただきます。

15:50~(18:00予定)

沼島からJR三ノ宮駅へ

お申込み 下記URLよりお申し込みください。

<https://forms.gle/d4DHXt2BpCbbzgCM9>

※ こちらは仮申し込みの受付フォームとなります。
仮申し込みの後、ご登録いただいたメールアドレス宛に、
別途お申込み用のURLをお送りいたします。



お問い合わせ ランドブレイン株式会社
担当 市原、佐久間、井口

TEL 03-3263-9388

kaijokotsu@landbrains.co.jp
〒102-0093 東京都千代田区平河町1-2-10
平河町第一生命ビル7F

モニターツアー募集チラシ〔裏〕



～旅のしおり～

11/26・27 (土・日)

伊弉諾神宮参拝、おのころクルーズ、銅鑄づくり体験等、淡路の魅力がギュッと詰め込んだ秋の満喫1泊2日！

～国生み神話とは～

皆さんは、淡路島に伝わる国生み神話をご存知でしょうか？日本では最初の歴史書である『古事記』には、天と地が形づくられ、国が誕生する過程を、神々の姿になぞらえ描かれた物語が記されています。

その冒頭を飾るのが「国生み神話」です。

そこでは、伊弉諾尊（いざなぎのみこと）・伊弉冉尊（いざなみのこと）が、天沼矛（あめのぬぼこ）で下界をかき回し、その矛先から滴り落ちた塩の雫が固まって「おのころ島」ができたことと記されています。伊弉諾尊と伊弉冉尊は、おのころ島で夫婦となり、次々と日本列島の島を生んでいきます。その中で、最初に生まれたとされているのが、今回のツアーの舞台である“淡路島”です。

“なぜ淡路島が国生み神話の舞台になったのか”

～本ツアーの目的～

本ツアーでは、古事記・日本書紀の冒頭である「国生み神話」に登場する伊弉諾神宮の参拝や、日本のはじまりの地とされる「おのころ島」の伝説地の一つである沼島の探訪、また、かつて御食国と称される淡路の「食」を堪能しながら、今なお息づく国生み神話に通じる自然資源や歴史を感じること、淡路島をはじまりの地として扱った理由を解き明かします。

「なぜ淡路島が国生み神話の舞台になったのか。」まずは、皆さん自身でその答えを想像してみてください。



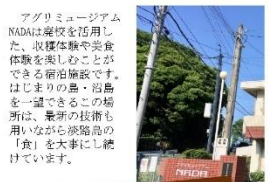
伊弉諾神宮

伊弉諾神宮は「国生み神話」に登場する、国生みの大業を果たされた伊弉諾尊と伊弉冉尊の二柱をお祀りする全国で最も古い神社です。

また、伊弉諾神宮を中心にして、計算されたように、東西南北に線ある神社が配置されており、このことを記す「陽の道しるべ」というモニュメントが建てられています。

本ツアーでは、本名佐賀稲穂より国生み神話を学び、御神庫を参拝いただきます。一般的に知られている神話とは違う新たな発見があるはずですよ。

1日目 11月26日(土)	
9:30	三ノ宮駅集合 出発～移動
10:30	伊弉諾神宮参拝
12:00	バス移動
12:30	御食国 昼食
14:00	バス移動
15:00	アグリミュージアムNADA 校舎内案内
16:00	ものづくり体験
18:00	夕食
20:00	就寝



アグリミュージアムNADA

アグリミュージアムNADAは産校を活用した、収穫体験や食育体験を楽しむことができる宿泊施設です。はじまりの島・沼島を一望できるこの場所は、最新の技術も用いながら淡路島の「食」を大事にし続けています。



御食国 (みけつくに)

御食国とは、日本古代から平安時代まで皇室・朝廷に海産物を中心とした御食料を貢いだ国のことです。島産物や水産物等、多くの食材に恵まれた淡路島では、古くから数々の食材を朝廷に納めていました。

朝廷からのお墨付きである淡路島の「食」には、ここがはじまりの地とされるヒントが隠されているかもしれません。

2日目 11月27日(日)	
7:00	朝食
8:30	バス移動
9:00	沼島移動
9:30	①おのころクルーズ ②沼島八幡神社参拝
12:00	あさやま 昼食
13:30	①沼島散策 ②リトリート体験
15:50	移動
18:00	JR三ノ宮駅 解散



沼島 (ぬしま)

沼島は南あわじ市瀬の沖4.6キロに位置する離島で、瀬の土生港からの沼島汽船によって結ばれています。はるか昔、神々が降り出した最初の島「おのころ島」だという伝説が残っています。沼島の「沼」は「国生み神話」の「沼矛」に由来するという説もあり、今もなお自然のままの姿を残し、知られざる海の楽園として、訪れる人を魅了しています。

古代の海人族が本拠地にした島であると伝えられ、戦国時代には沼島水軍が名を馳せました。現在、島民の大部分が農業に従事しており、年間を通じて沼島産地に産する魚介類の評判は高く、夏場のハモは特に有名です。

おのころクルーズは、国生み神話を巡りながら沼島の岩礁を周遊遊覧で一周する“島めぐり”。

東側海岸には見る人を驚かせる岩が多く、「国生み神話」の「天の沼矛」や「天の御産」のモデルともいわれている「上立神岩」をはじめ、「屏風岩」「あみだバニ」などの勇壮な奇岩が点在しています。

おのころクルーズ



沼島八幡神社

豊漁の神様が祀られており、海上安全と豊漁を祈るだじり祭りが行われています。黒山の森は、八幡さんの森と呼ばれ、手つかずの状態で残っており、樹齢約200年のスダジヤやタブノキが生えています。

注意事項

- 本ツアーでは海辺での体験も多いため、防寒具のご用意等、防寒対策の上お越し下さい。
- 宿泊先周辺にはコンビニ等がありません。下記、宿泊先の備え付けを参考にして、お忘れ物のないようご注意ください。

当日スタッフ連絡先

- 市原 080-7930-8870
- 井井 080-4439-2866
- 小笹 080-3271-8218

アンケート

《アグリミュージアムNADA 備え付け》
 ・ハンドタオル
 ・ボディソープ
 ・ドライヤー
 ・歯ブラシ・歯磨き粉
 ・シャンプー（リンスインシャンプー）

・ツアー後、右記QRコードもしくは下記URLよりアンケートのご回答をお願いいたします。
<https://forms.gle/GnbG1DTS45n9f0uY36>





③ツアー行程

時間	項目	詳細
11月26日(土)〈1日目〉		
9:30	三ノ宮駅	○集合 9:15 ラウンドワン三宮駅前店前に集合。 ○出発 9:30 バスに乗り込み、淡路島に向けて出発。 ○アナウンス 移動中の車内にて同行するスタッフの紹介及びツアーコンセプト等について説明。
10:30	伊弉諾神宮 県内で唯一「神宮」の 格式を誇る神社。 国生みの大業を終え た「伊弉諾尊・伊弉冉 尊」の二神を祀る。	旅の始まりは、「伊弉諾神宮」から！ 「なぜ、淡路島が国生み神話の舞台となったのか？」 国生み神話と淡路島の結びつきを知るツアーがスタート。 ○境内の案内および国生み神話に関する紹介 伊弉諾神宮の神職の案内により、正面の大鳥居から順に 境内を見学・参拝。 境内のスポットごとに国生み神話との関連などを説明。 ○御神楽奉納 伊弉諾神宮神楽殿へ昇殿し、御神楽奉納を体験。

時間	項目	詳細
		 
12:50	淡路ごちそう館 「御食国」 古代より朝廷に贅を 貢ぎ「御食国」と呼ば れた淡路島は、現代 においても、水産物・ 農産物など豊富な地 場産の食材を誇る。	旅先での「食事」は、重要な観光コンテンツ！ 淡路島は、神戸ビーフなどブランド牛の素牛（もとうし）と なる子牛（但馬牛）の約 65%を産出する畜産王国。 ○昼食メニューは、淡路牛のひつまぶし。    
15:00	アグリミュージ アム NADA 南あわじ市灘小学校 の旧校舎をリノベー ションした農業研修・ 美食観光・体験観光が できる複合施設。	宿泊・もの作り体験は、淡路島南部の海岸線高台に位置する 「アグリミュージアム NADA」！ 対岸には国生み神話の舞台「沼島」を望み、翌日の「沼島」 訪問に想いを馳せ、日没時には水平線に沈む夕日が絶景。 ○館内案内、宿泊説明 館内スタッフよりアグリミュージアム NADA で行われている トマトやバジル栽培、旧校舎を改修した部屋の様子、旧 商店を改修したシアタールームなどを案内。  

時間	項目	詳細
		   
16:30	ものづくり体験 (アグリミュージアム NADA) 南あわじ市松帆では、平成 27 年に銅鐸 7 点が一括で発見され、後に県指定重要有形文化財に認可。	廃校活用の広い施設を活かし「出張、もの作り体験」が実現！ ○銅鐸づくり体験 南あわじ市埋蔵文化財調査事務所から松帆銅鐸についての説明があった後、2 グループに分かれ作業を開始。ミニチュアとはいえ、型枠へ溶かした金属を流し込み、成型後やすりで整えるなど、本格的な銅鐸づくり体験に参加者は興味津々、真剣な面持ちで取り組んだ。    

時間	項目	詳細
		   
19:00	アグリミュージアム NADA 自社開発の淡路島オーガニック培養土を使用してトマト・香草を生産。	ここでしか味わえない食事が魅力！ 自社開発の淡路島オーガニック培養土を使用して生産したトマトが主役。 ○夕食 トマト鍋、宝楽焼き、オイルサーディンなど盛り沢山。数組ごとに分かれて大鍋を囲み夕食。 ○自由時間 夕食後は、屋上での星空観賞や廊下に設置されたキーボード演奏など、思い思いの時間を過ごせる時間。    

時間	項目	詳細
		 
11月27日（日）〈2日目〉		
9:00	沼島汽船 淡路島・土生港～沼島航路を「しまかぜ」・「しまちどり」の2隻で運航。 沼島 淡路島南部に位置し、古来より「おのころじま」の伝承が残る島。 今なお自然の姿を残し、東南海岸には「上立神岩」、「屏風岩」など勇壮な奇岩が点在。	沼島へ渡る唯一の公共交通機関「沼島汽船」！ ○沼島へ移動 淡路島から沼島へと約10分の船旅。      
9:30	体験プログラム ・沼島八幡神社 海上安全、四季豊漁を祈願する神様。 拝殿の歴史を語る画が印象的！神域の森の大木も大迫力。	旅の2日目は、「沼島」を思う存分に堪能！ 2部制の入れ替えで2つのプログラムを実施。 ○沼島八幡神社参拝 沼島八幡神社を訪れ参拝した。その後、神楽殿へと昇殿し、心願成就の祈願を行った。祈願後、神社に飾られている絵馬について神職より紹介を行ったり、森の散歩道を自由に散策したりする時間とした。

時間	項目	詳細
	・おのころ クルーズ 沼島の漁師が自らの漁船で沼島を一周。 船上からでないとは見ることができない奇岩の姿を堪能。	      ○おのころクルーズ 地元漁師が操縦する漁船に乗り、沼島を一周するクルーズ。今回はガイドが同乗し、沼島の周りにある「上立岩」など各種スポットを紹介。    

時間	項目	詳細
		 
12:00	民宿お食事処 「あさやま」 漁業は島の基幹産業であり、年間を通じて沼島漁港に揚がる魚介類の評判は高く、夏場のハモは特に有名。	沼島と言えば漁業、食事はなんと言っても「海鮮」！ ○昼食 新鮮なお刺身に舌鼓。    
13:30	選択プログラム ・リトリート体験 仕事や家庭・人間関係などの日々の忙しい生活から離れ、リラックスし、疲れを癒す。	午後は2種類のプログラムを選択制で実施。 ○リトリート体験 沼島の豊かな大自然を舞台に神秘的なエネルギーに包まれ心身をリフレッシュ。 リトリートの講師の指導のもと、沼島八幡神社の森の散歩道、おのころ神社の参道周辺にて、呼吸を感じるプログラムを実施。  

時間	項目	詳細
	・ 沼島散策 歴史や地質学的にも見どころの多い沼島、専属のガイドにより余すところなく島を案内。	○沼島散策 地域のガイドにより上立神岩、おのころ神社、八角井戸、梶原五輪塔などを紹介しながら島内の各スポットを紹介しながら散策。          

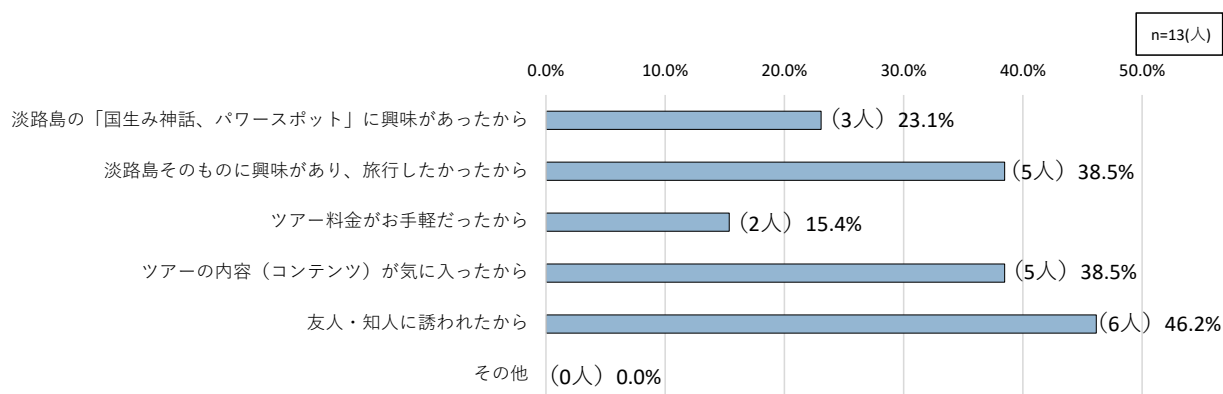
時間	項目	詳細
15:50	沼島汽船	たっぷり時間をかけ「沼島」を堪能し、帰路に！ ○淡路島へ移動 沼島に別れを告げ、沼島から淡路島へと移動。
18:00	三ノ宮駅	1泊2日のツアーの締めくくりは淡路島のお土産！ ○淡路 SA にて休憩 バスで三ノ宮駅へ戻る途中、淡路 SA へ立ち寄り休憩およびお土産購入。 ○解散 18:00 すぎにラウンドワン三宮駅前店前にて解散。

④参加者アンケート調査

ツアー参加者に対して実施したアンケートの結果は、以下のとおりである。

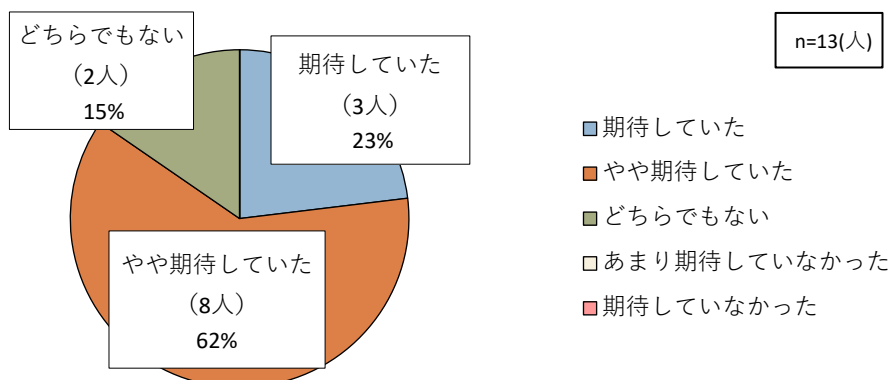
■ 今回のツアーに申し込んだ動機（複数回答可）

＜友人・知人に誘われたから＞が最も多く 46.2%である。今回、1人で参加されていたのは3名だけであり、興味のある友人・知人に誘われて参加した人の割合が高くなっていると考えられる。次いで＜淡路島そのものに興味があり、旅行したかったから＞と＜ツアーの内容（コンテンツ）が気に入ったから＞が 38.5%と多かった。淡路島自体への来訪に興味があり、本ツアーの内容が訪れるきっかけとしてマッチしたと考えられる。



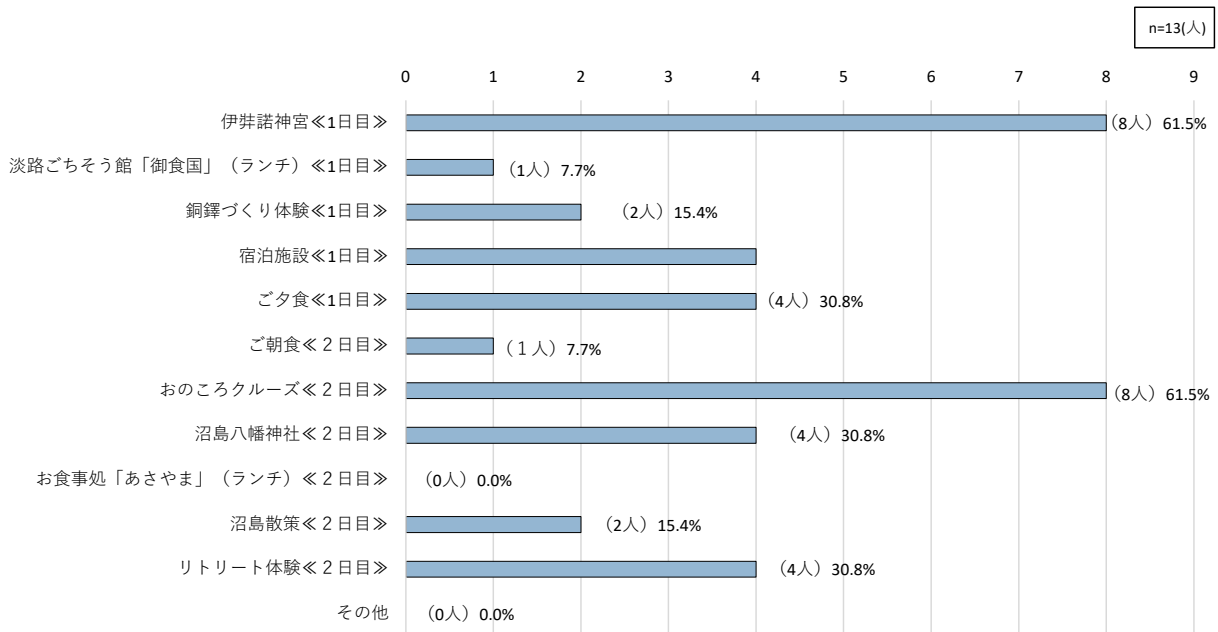
■ ツアー参加前の期待感

＜やや期待していた＞が 61.5%と最も多く、次いで＜期待していた＞が 23.1%と期待感の高い結果となった。＜期待していた＞＜やや期待していた＞の合計が 84.6%となっており、ツアー参加前の期待度は高かったことがわかる。



■ 具体的に期待していたコンテンツ

＜伊弉諾神宮＞と＜おのころクルーズ＞が 61.5%で最も多かった。本ツアーのコンセプトである「国生み神話」の舞台として知名度の高い伊弉諾神宮、海事観光要素として本ツアーに取り込んでいるおのころクルーズの期待度が高かった。



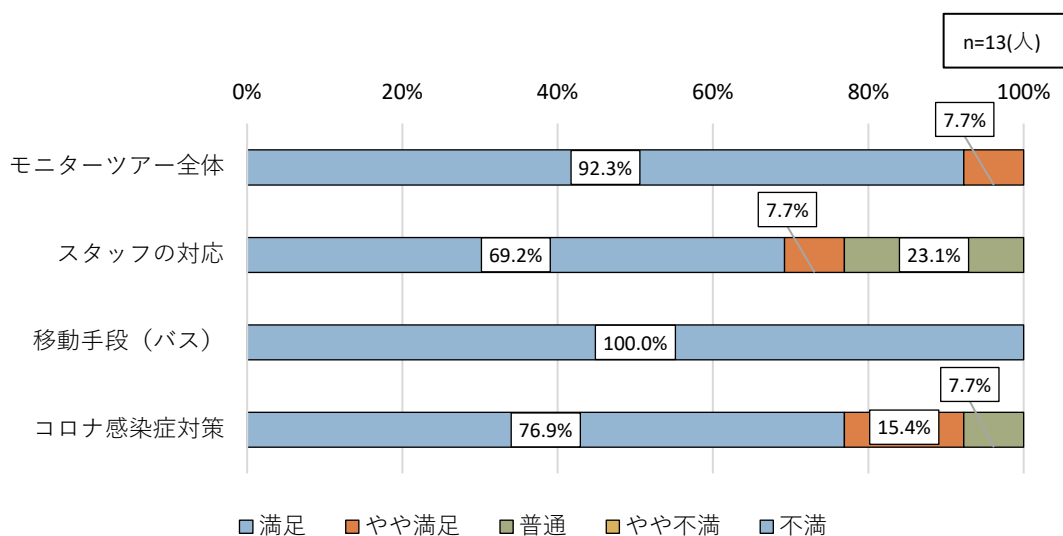
■ 満足度[モニターツアー全体]

モニターツアー全体について、＜満足＞が 92.3%、＜やや満足＞が 7.7%となっており、非常に満足度の高い結果となった。

スタッフの対応について、＜満足＞が 69.2%と最も多く、満足度の高い結果となった。

バスでの移動については全員が＜満足＞と回答しており、非常に満足度の高い結果となった。

コロナ感染症対策については、＜満足＞が 76.9%と最も多く、満足度の高い結果となった。



■ 満足度[個別コンテンツ]

各項目について、全体的に満足度が高い結果となった。

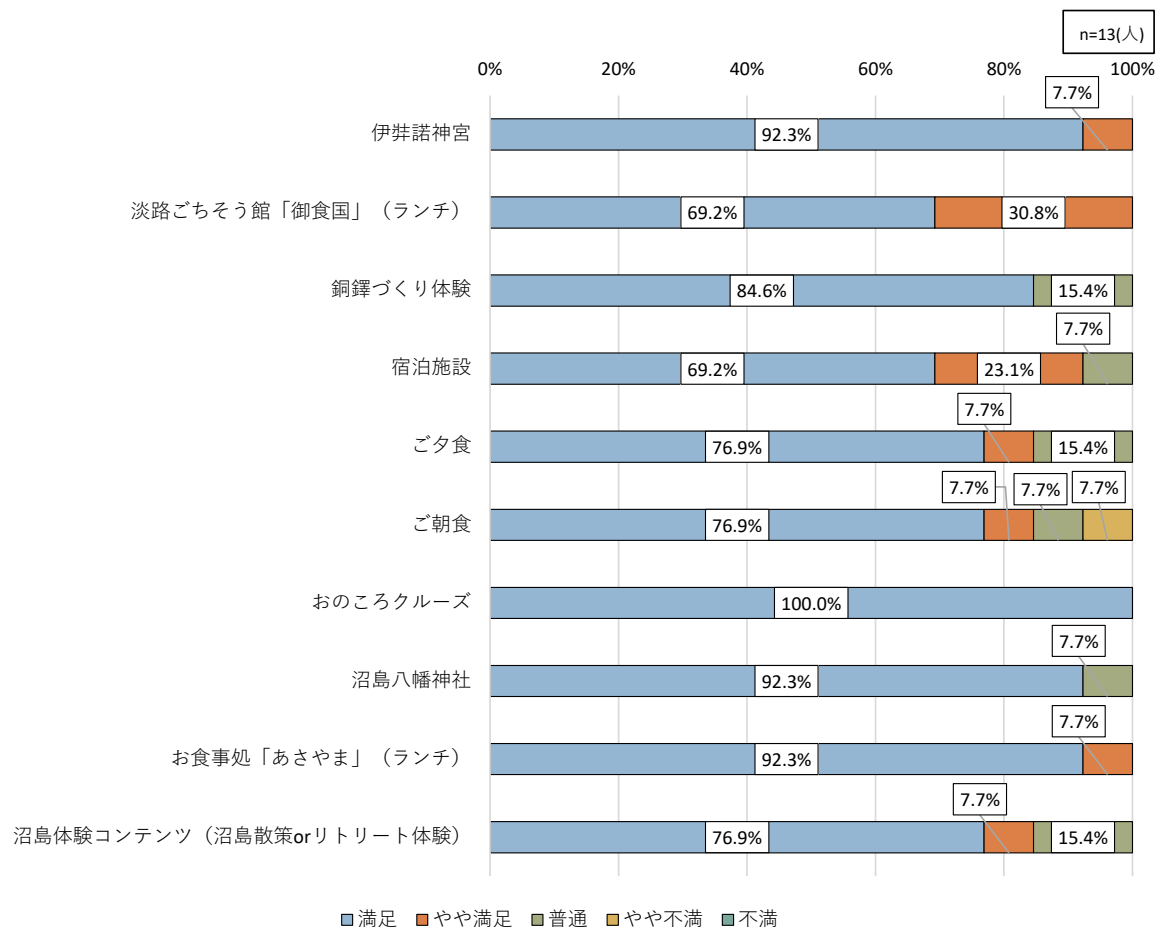
特に満足度が高かったコンテンツは「おのころクルーズ」である。全員が＜満足＞と回答しており、参加者が十分に楽しめるコンテンツとなっている。後述する全体の感想にも意見をいただいているが、特に船内ガイドによる沼島周辺に関する案内が非常に好評であった。

次いで「伊弉諾神宮」「沼島八幡神社」についても＜満足＞が 92.3%となっており、非常に満足度の高い結果となっている。神社での御神楽奉納、心願成就の祈願など非日常の体験が高評価につながっていると考えられる。

食事については、1日目の昼食で訪れた淡路ごちそう館御食国に対し、2日目に訪れたお食事処「あさやま」の＜満足＞が 92.3%と非常に高い結果となった。お食事処「あさやま」では海鮮、淡路ごちそう館御食国では淡路牛に関連する料理を提供したことから、参加者が淡路島での食事に海鮮系を求め、より満足感を得ているのではないかと考えられる。

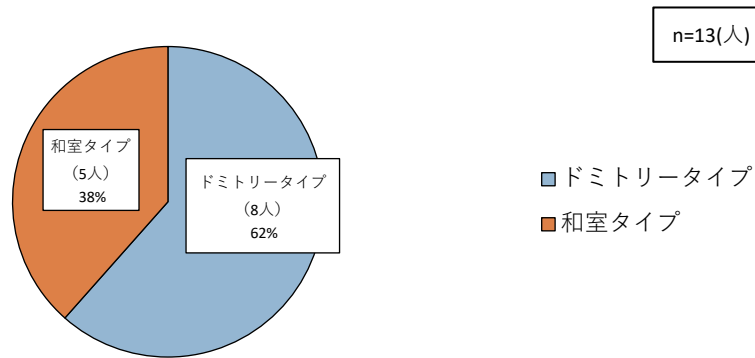
体験コンテンツとしては、銅鐸づくり体験は＜満足＞が 84.6%、沼島体験コンテンツ（沼島散策 or リトリート体験）は＜満足＞が 76.9%と、いずれも満足度の高い結果となった。

宿泊施設について、今回ドミトリーも併用した形での宿泊形態を採用したが、＜満足＞が 69.2%、＜やや満足＞が 23.1%と一定以上の評価を得られている。



■ 宿泊先のタイプ

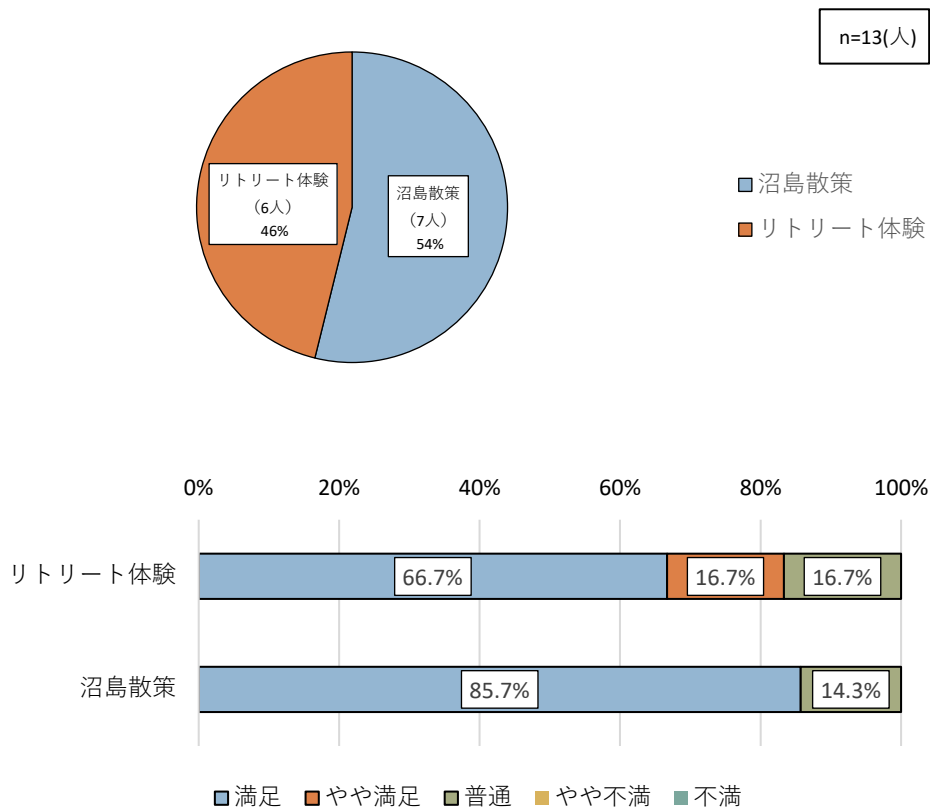
<ドミトリータイプ>に 8 名、和室タイプに 5 名が宿泊した。募集条件について、ドミトリータイプの方が和室よりも 5,000 円安く設定したことから、1～2 名での参加者はドミトリーを選択した方も多し。また家族連れでご参加の方は和室タイプ、友人連れでご参加の方はドミトリータイプを選ばれていた傾向にあった。



■ 沼島体験コンテンツの選択

<沼島散策>を 7 名、<リトリート体験>を 6 名が選択した。同程度の参加希望であり、コンテンツの設定としては妥当であったと考えられる。

満足度については、「リトリート体験」は 66.7%が<満足>、16.7%が<やや満足>と回答している。「沼島散策」についても 85.7%が<満足>と回答しており、両コンテンツとも満足度は高い。

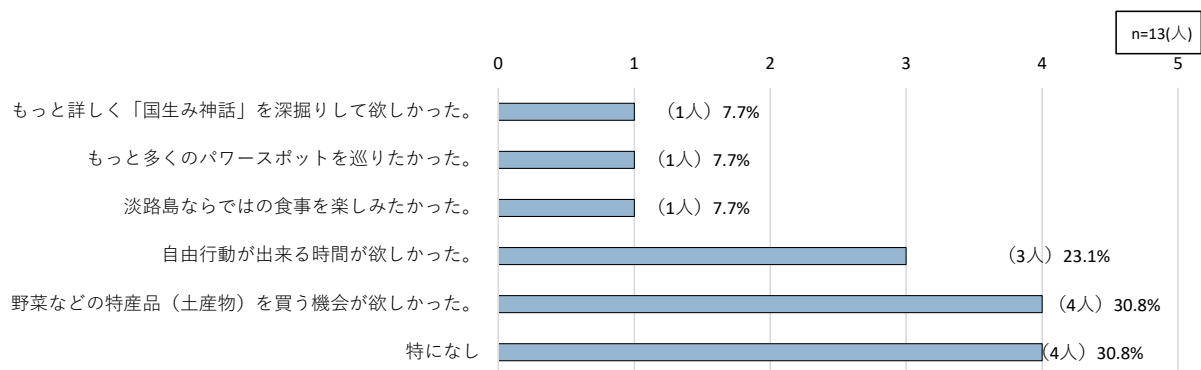


■ 今回のツアーに足りなかったこと（複数回答可）

＜野菜などの特産品（土産物）を買う機会が欲しかった＞が 30.8%と最も多かった。今回のツアーでは、帰りの淡路 SA でしかお土産品を購入する時間を設けていなかったが、ツアー商品として販売する際、お土産購入の時間をもう少し確保する必要がある。

次いで＜自由行動が出来る時間が欲しかった＞が 21.4%と多かった。ツアー実施にあたり、満足感のあるコンテンツをツアーに盛り込むと同時に、自由に過ごす時間を確保することも求められている。

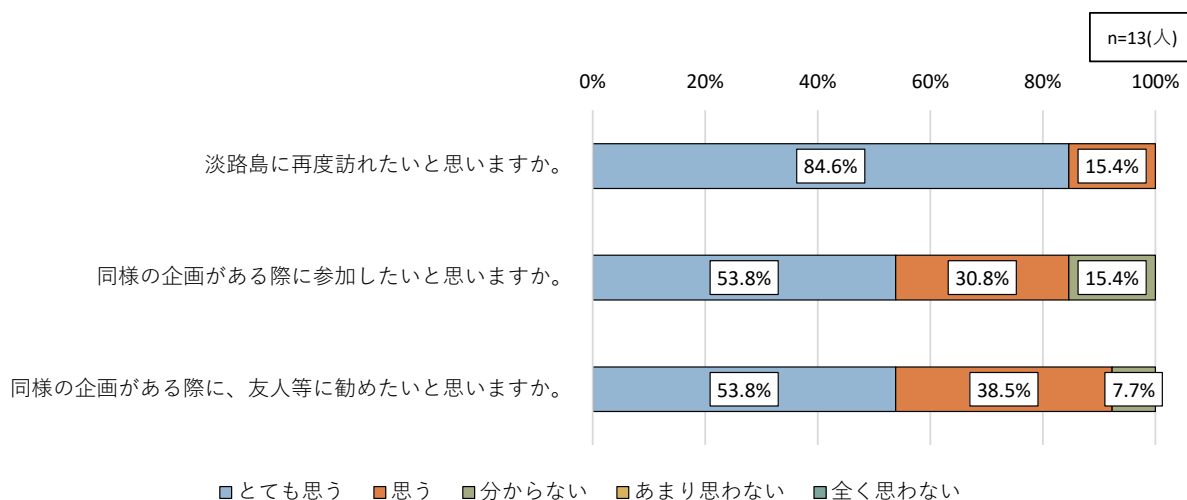
一方で、＜特になし＞と回答した方も 30.8%おり、全体的に満足度の高いツアーであったといえる。



■ 今後の意向

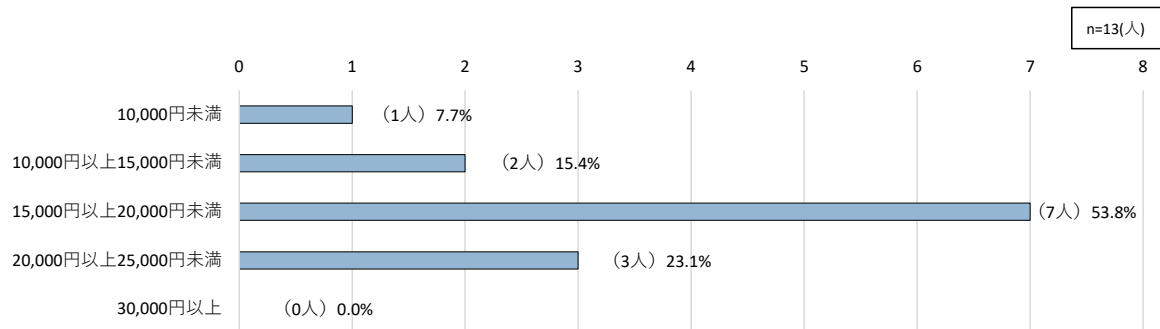
「淡路島に再度訪れたいと思いますか。」という設問に対しては、＜とても思う＞が 84.6%と最も多く、＜思う＞も含め全員が再来訪の意向を持っていることが分かった。

「同様の企画がある際に参加したいと思いますか。」「同様の企画がある際に、友人等に勧めたいと思いますか。」の両設問については、どちらも＜とても思う＞が 53.8%となった。＜思う＞を含めるとともに 8 割以上が再び利用したくなるコンテンツであると回答している。



■ 本ツアーの妥当な価格帯

＜15,000 円以上 20,000 円未満＞が 53.8%と最も多い。＜10,000 円以上 15,000 円未満＞＜20,000 円以上 25,000 円未満＞も一定数の回答があり、今回のツアー内容の場合、10,000 円～25,000 円程度が適正価格と認識されている。



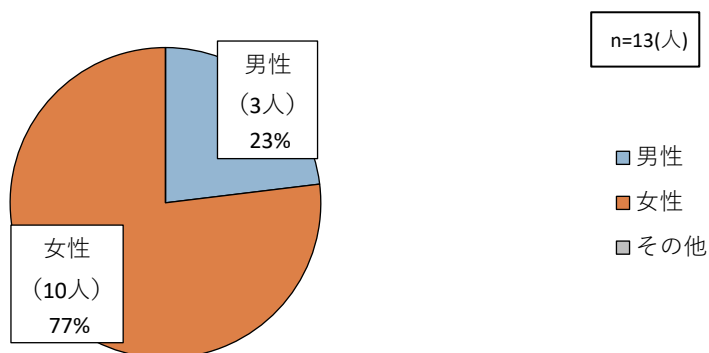
■ 全体的な感想（意見・提案）

分類	性別	年齢	自由意見
ツアー全体	女性	40 代	素晴らしい企画だったと思います！ありがとうございました～！
	男性	50 代	期待以上に楽しかった。ケアの行き届いたスタッフ、ツアーの流れも申し分なく新しい発見がところどころにあり充実した旅をさせていただきました。次回あればまた参加させていただきたいです。
	女性	50 代	淡路島には何度か訪れたことがあったのですが、はじめて巡るスポットばかりでしたので、非常に興味深く感じました。
	女性	30 代	こんなに色々体験させていただけて、新しい知識と普段あまり関わりのない方々と出会い交流することができてとても満足しました。
	女性	30 代	もし次にツアーとして開催される折には、母も連れて行きたいと思いました！
	男性	20 代	初めての経験・体験が多く、とても満足しています。
食事	女性	20 代	ローカルの海鮮や野菜を美味しく味わえるごはんがとても良かったです。
	男性	50 代	特に宿泊での夕食は圧巻！
	女性	50 代	食事はすべて美味しかったですし、行程も無理のないもので、とても良かったです。
	女性	30 代	お料理が大変美味しいものばかりで、いっぱいいただきました。

分類	性別	年齢	自由意見
個別コンテンツ	男性	40代	一つひとつの体験内容が濃密（説明してくださる方のお話しが分かりやすく、話し方も上手。お料理は毎食びっくりするほどの美味しさでした。）で、二日間の行程の中で手持ち無沙汰になる時間を感じませんでした。
	女性	50代	ツアー参加者の目線になって、考えられたプランだと思いました。訪れた先々では、丁寧で分かりやすい説明をゆったりと聞け、普段できない経験をさせていただけたこと、そしてご当地の美味しいものを存分にいただけたこと、全てにおいて大満足のツアーでした。参加できて本当によかったです。
	女性	30代	普段神社の方からお話をお聞きすることがないので、国生みのお話などお聞きでき、また漁師さんのお話や漁港のこともお聞きできたので、本当に内容の濃い2日間になりました。宿泊施設もとても良かったです。単に廃校を活用して宿泊施設にしているというだけでなく、そこを拠点に体験学習をされているというのがワクワクしました。
	女性	50代	最後にサービスエリアでお土産買う時間が短かったのが少し残念でした。それ以外は食事も美味しく、景色も綺麗で楽しかったです。
ツアーコンセプト	男性	40代	今回のツアーのコンセプトを十二分に堪能させていただきました。本当に大満足の2日間をありがとうございました。
	女性	20代	いろいろな視点から国生みの話を聞くことができて良かったです。自由時間の際に、周辺のスポットを案内いただけたら尚良かったです。
	女性	20代	歴史や文化などを学びながらの旅行は修学旅行ぶりでした。1つテーマを持って巡ることはどんどん繋がっていく感じがして記憶や思い出により残りますね。楽しかったです！逆に今回学べなかった部分や行けなかった所などが見えてくると再訪に繋がりそうだなと思いました。
ターゲット設定	女性	20代	スタッフの方とお話しする中で、今回のツアーのメインターゲットが20～30歳代の女性とお伺いしましたが、ターゲットは30代女性に限らないのでは？と思いました。ただ、ターゲットに寄せすぎないプログラムなのは良かったです。

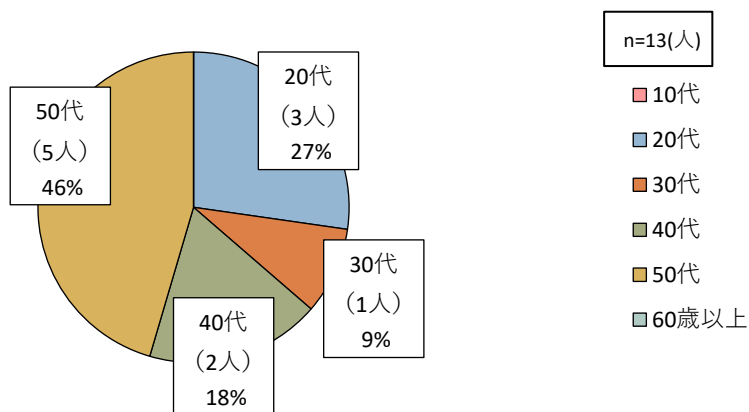
■ 参加者属性[性別]

＜女性＞のほうが 76.9%と多かった。ターゲットとして想定していた方の参加が多かったことがわかる。



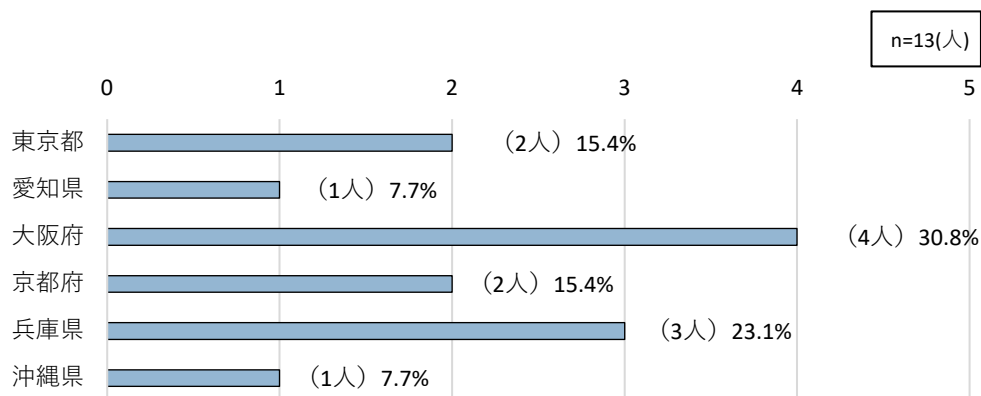
■ 参加者属性[年齢]

＜50代＞が 45.5%と最も多く、次いで＜20代＞が 27.3%と多く、幅広い世代が参加していた。



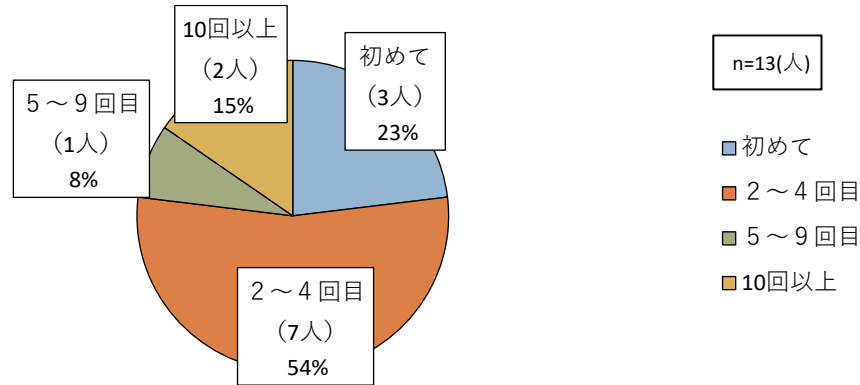
■ 参加者属性[居住地（都道府県）]

＜大阪府＞が 30.8%と最も多く、次いで＜兵庫県＞が 23.1%と近隣の関西圏からの参加が多い結果となった。一方で＜東京都＞や＜沖縄県＞という回答もあり、関西圏に限らず様々な地域の方に参加いただいたツアーとなった。



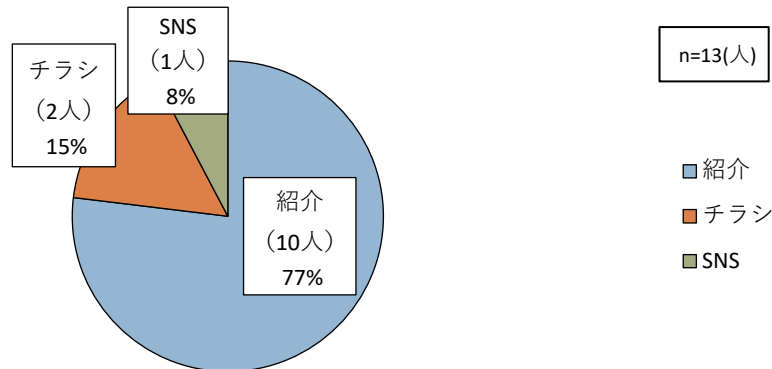
■ 参加者属性[淡路島への来訪経験]

＜2～4回目＞が 53.8%と、再来訪者の多い結果となった。



■ 参加者属性[今回の企画を知るきっかけ]

＜紹介＞が 76.9%と最も多い結果となった。

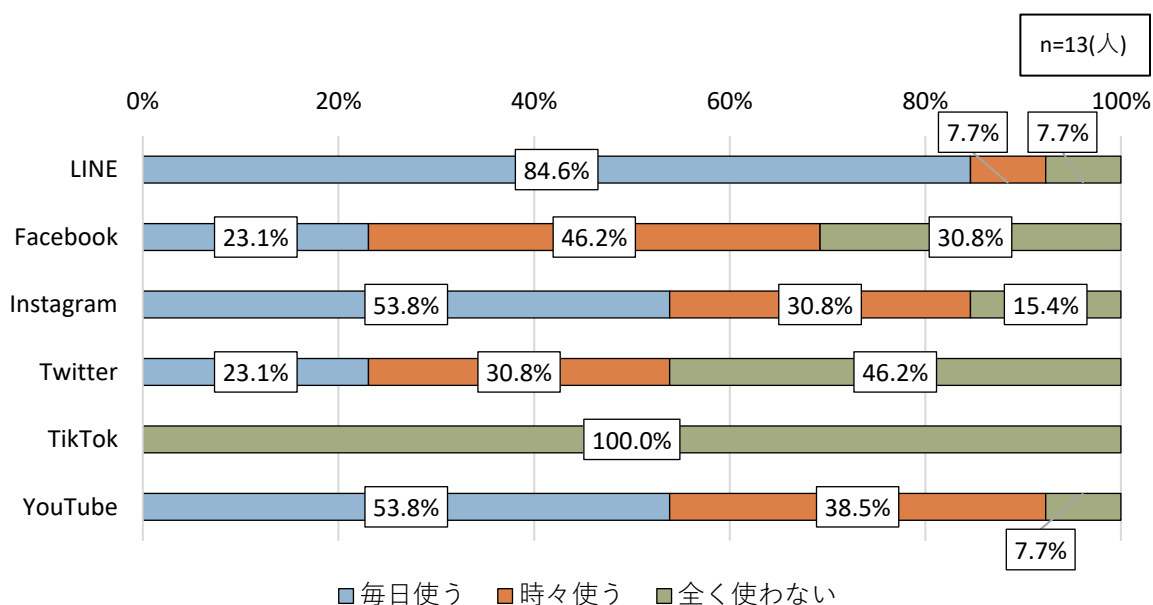


■ SNS の使用頻度

今回、参加者を募集するにあたり、Instagram のバナー広告等を使用した。ターゲット設定に応じた情報発信を行う必要があるため、今回の参加者がどのような SNS や WEB 媒体を使用しているのかを問う設問を設けた。

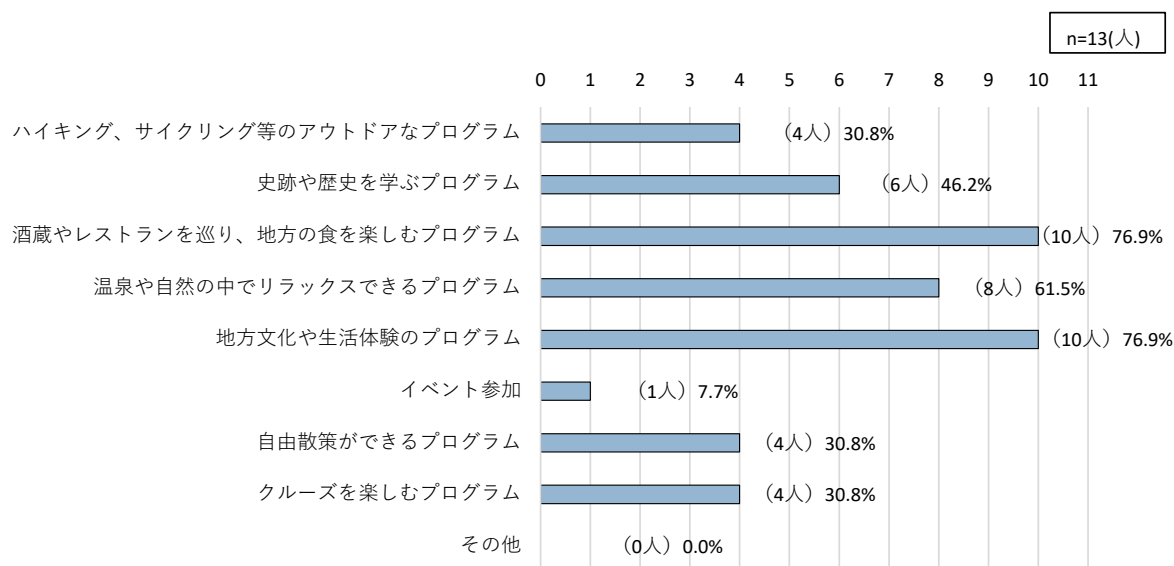
「LINE」については 84.6%が＜毎日使う＞と回答しており、使用頻度の高い媒体であることが分かった。次いで＜毎日使う＞と回答した割合が高いのが「Instagram」と「YouTube」であり、53.8%と約半数が回答した。Instagram や YouTube は広告発信を行いやすい媒体であり、ツアーなどを発信する際に使用しやすいコンテンツであるといえる。

一方で、近年若者を中心に使用されている割合が増加している Tiktok については、全員が＜全く使わない＞と回答した。今回、申し込みがあったような層をターゲットに SNS で発信する場合、LINE、Instagram、YouTube などは発信力が高く、Tiktok などは発信力が低い。



■ 今後、どんな旅行に行きたいと思うか（複数回答可）

＜酒蔵やレストランを巡り、地方の食を楽しむプログラム＞と＜地方文化や生活体験のプログラム＞が 76.9%と最も多い結果となった。淡路島の豊富な食材を生かしたプログラム造成をしていくことが、同様のターゲット層取り込みにつながると考えられる。また、農業や漁業など淡路島での生活に根付く体験プログラムも、今後有効なコンテンツになる可能性がある。



（２）親子で楽しむ懐かしの淡路島モニターツアー

①ツアー選定理由

淡路島は都市近郊にありながら豊かな自然が残り、「農業・漁業」など第一次産業が盛んな島で訪れた人がなんとなく懐かしさを感じる場所である。

また、島内には実際に体験することにより、懐かしさとともに、新鮮さを覚えることができるメニューを有する観光コンテンツが数多くある。

「懐かしさ」をキーワードとして、大人も童心に返り子供と同じ目線で一緒に楽しめる体験メニューを組み合わせ、親子が共に経験することにより、共通の思い出が生まれ、記憶に残るツアーとなるものと考えられる。

加えて近年、島の北部～北西部に相次いで展開されている近代的な複合観光施設とは趣を異にしており、これらとの住み分けによる親子連れを対象とした新たな観光需要が期待されることから、本調査における催行ツアーとして選定した。

具体的なツアー内容については、誰もが一度は遊んだことがある「吹き戻し」の作成、昔ながらの「かまど」による炊飯、牧場での動物とのふれ合いや「乳搾り・バター作り」、天然藍を用いた「藍染め」など、普段の生活ではなかなか体験できないメニューと世界最大級の渦潮を間近で見ることが出来る「うずしおクルーズ」を組み合わせた構成とした。

なお、ツアーには専属のカメラマンが同行し、親子が揃った写真をプレゼントするなど、ツアーでの思い出が記憶だけでなく形としても残るよう工夫した。

②実施概要

【日程】令和５年１月２８日（土）～２９日（日）

【募集人数】２０名

【参加者数】２０名

【メインターゲット】小学生前後の子どもを含む親子

【参加費用】おとな（中学生以上）１０,０００円

こども（小学生以下）５,０００円

【行程】１日目：吹き戻しの里～farm studio～福良散策～うずしおクルーズ～ホテル＆リゾート南淡路宿泊

２日目：淡路島牧場～すもとレトロこみち～淡路島の天然藍染工房 AiAii

モニターツアー参加者募集



主催 株式会社日本旅行

企画実施 ランドブレイン株式会社

日程 1/28 **土**
1/29 **日**

本ツアーは、国土交通省神戸運輸監視部の淡路島における魅力的な海事観光ツアー造成調査を活用して実施するものです。

定員 20名

申込締切

1/15 **日**

参加費

大人10,000円・子ども5,000円

旅行代金に含まれるもの：島内移動費（バス代）・宿泊費
お食事（1日目）昼食、夕食（2日目）朝食、昼食
体験プログラム参加費・保険料

ツアーのポイント

Point 1

ツアーにはカメラマンが同行！

全行程にカメラマンが同行し、皆様の思い出を写真に収めます。撮影した写真は後日皆様にプレゼントいたします！

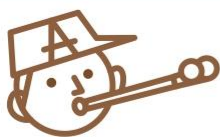
Point 2

スタンプラリーで楽しく巡る！

各スポットで見本と同じ写真が撮影できたらスタンプをゲット！スタンプを集めたら、最後に景品がもらえるかも？！

ご参加いただいた方には、ツアーに関するアンケートへのご協力をいただきます。

モニターツアー募集チラシ〔表〕



親子で楽しむ「懐かしの淡路島」 ～思い出が生まれる体験の旅～

※食事や体験プログラムの写真はイメージです。
※荒天時は一部プログラムが変更になる場合があります。



1/28 土

1/29 日

09:15

JR三ノ宮駅集合、バスで淡路島へ



10:30～11:30

吹き戻しの里

全国シェア80%を占める淡路島の吹き戻し。
好きな色やデザインを選び自分だけの吹き戻しを作成します！



11:50～14:55

farm studio

カマドで炊いたご飯や焚火で作った焼き芋、いちごの摘み取り体験等、畑の中でのびのびと淡路の食を楽しんでいただきます。

15:35～15:55

福良散策

淡路島の最南端、海の香りが漂う福良の町で、歴史や文化を感じながら自由に散策いただきます。



15:55～17:15

うずしおフルーズ

世界最大級のうずしおを間近で見られる迫力満点のフルーズ体験！
大型船なので、揺れが少なくお子様にも安心です。

17:20～

ホテル＆リゾート南淡路



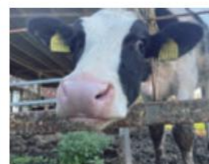
18:30～

夕食



07:30

起床・朝食



9:20～10:50

淡路島牧場

動物と触れ合いながらバター作りを体験いただく他、乳しぼり、ポニーのメリーゴーランド等もお楽しみいただけます！

11:15～13:30

すもとレトロこみち



細い路地が続くこのエリアでは、おやつや買い物を楽しみながらウォークラリーをお楽しみください。

13:40～15:00

淡路島の天然藍染工房 AiAii



自然から取れる材料だけで出来た体にも環境にも優しい染料を使った藍染体験をしていただきます。

15:00 (17:00着予定)

淡路島からJR三ノ宮駅へ

お申込み 下記URLよりお申し込みください。

<https://forms.gle/7LMoDxLisaE1QNzeA>

※ こちらは仮申し込みの受付フォームとなります。仮申し込みの後、ご登録いただいたメールアドレス宛に、別途お申込み用のURLをお送りいたします。
※ お申込みは先着順となっております。定員になり次第募集を締め切りさせていただきます。



お問い合わせ **ランドブレイン株式会社**
担当 市原、佐久間、井口

TEL **03-3263-9388**

kaijokotsu@landbrains.co.jp

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-2-10
平河町第一生命ビル7F

モニターツアー募集チラシ〔裏〕

旅のしおり

2023年1月28日～29日



なまえ（ ）

1日目 1月28日(土)

09:15

ラウンドワン三ノ宮駅前店前 集合
(JR三ノ宮駅東口から徒歩約6分)



集合場所はコチラ→

10:30～
11:30

吹き戻しの里

吹き戻しの里は日本で唯一の吹き戻しの製作体験と工場見学ができる施設です。好きな色やデザインのパーツを選んで、オリジナルの吹き戻しを作ってください！



11:30～
14:55

Farm Studio

カマドで炊くご飯のワークショップや、いちごジャム作り体験を体験いただきます！また、畑の中でお弁当を食べながら、淡路の自然を堪能できます。



15:35～
15:55

福良散策

福良の町では、港町の風景や、あわじのグルメ等お気に入りを見つけてお楽しみ下さい！

※15:55「うずしおドームないう館」に集合して下さい！
兵庫県南あわじ市福良甲1530-14



15:55～
17:15

うずしおクルーズ

鳴門のうずしおは世界三大海流の一つにも数えられています。昔の帆船を模したクルーズ船で迫力満点の渦潮を間近で見ることができます。※荒天の場合は、別のコンテンツを体験いただきます。

今日の宿泊先

ホテル&リゾート南淡路
〒656-0503 兵庫県南あわじ市福良内 317番地

※18:30～ホテルにて夕食です。



2日目 1月29日(日)

07:30

起床・朝食

09:20～
10:50

淡路島牧場

動物と触れ合いながら、淡路島牛乳を使ったバターの手作り体験や乳しぼりを体験していただきます！



11:15～
13:30

①すもとレトロこみち

洲本城の城下町として多くの人が行き交った町並みにある「洲本レトロこみち」には、ご飯屋さんやお土産さんが立ち並んでいます。お好きなお店でランチを楽しんでください！

※1,500円/人までは、領収書を選べば当日清算致します。

13:40～
15:00

②淡路島の天然藍染工房 AiAi

自然から取れる材料だけを使用した体に優しい染料を使って、ハンカチの藍染を体験していただきます。※体験はお子様の人数分となります。親子で協力して素敵なデザインを作ってください。

※エプロン等の貸出はございますが、心配な方は着替えをお持ち下さい。

17:00

JR三ノ宮駅 解散

※帰り際に淡路SAでお土産を購入できる時間を予定しております。



①ツアーを通してフォトラリーをお楽しみください！

各スポットで見本と同じ写真を撮影しましょう！撮影できた数に応じて最後に何か貰えるかも！？詳しくは当日お配りするルールをご確認ください！

②カメラマンを見つけたら声を掛けて下さい！

全行程にカメラマンが同行しております。撮影した写真は皆さんに共有させていただきます！写真の共有については、次のページをご覧ください。

◆注意事項◆

- ・本ツアーでは海辺での体験も多く、また冷え込むことが予想されるため、十分な防寒具のご用意等、防寒対策の上お越し下さい。
- ・藍染体験では、エプロン等の貸出を行っておりますが、心配な方は着替えを持参ください。
- ・下記、宿泊先の備え付けを参考に、お忘れ物のないようご注意ください。

○ハンドタオル ○ボディソープ ○ドライヤー ○温水洗浄トイレ
○歯ブラシ・歯磨き粉 ○羽毛布団 ○バスタオル ○浴衣
○シャンプー ○リンス

◆連絡先◆

当日同行するスタッフの連絡先は以下の通りです。

- ・市原（いちばら） 080-7930-8870
- ・佐久間（さくま） 080-7377-8556
- ・井口（いのくち） 070-3193-4878

◆写真の共有について◆

撮影した写真は、随時Googleドライブより共有いたします。下記QRを読み込んでいただき、ダウンロードしてください。

1日目（1/28）の写真



2日目（1/29）の写真



◆ツアーについて◆

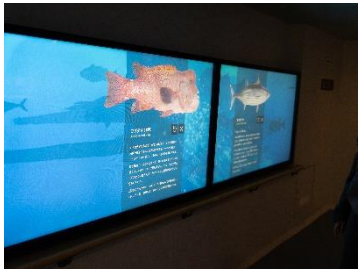
本ツアーは、国土交通省神戸運輸監理部の「淡路島における魅力的な海事観光ツアー造成調査」を活用したモニターツアーです。

淡路島は、多くの地域資源に恵まれていますが、「日帰り観光」や「インバウンド需要」の低さが課題とされています。今回は、親子をターゲットとした宿泊型ツアーを実施し、参加者の皆様からの意見をお聞かせすることで、より良いツアー造成を目指したいと考えております。本ツアー終了時にアンケートへのご協力をお願いいたします。それでは、「親子で楽しむ懐かしの淡路島」をお楽しみください！

③ツアー行程

時間	項目	詳細
1月28日（土）〈1日目〉		
9:30	三ノ宮駅	○集合 9:15 ラウンドワン三宮駅前店前に集合。 ○出発 9:30 大型バスに乗り込み、淡路島に向けて出発。 ○アナウンス 移動中の車中にて、同行するスタッフ・カメラマンの紹介及びツアーコンセプト、スタンプラリー企画について説明。
10:30	吹き戻しの里 誰もが一度は遊んだことのある「吹き戻し」、なんと全国シェアの約80%を淡路島が誇る。	誰もが知る、懐かしの玩具「吹き戻し」！ 自分だけの吹き戻しを作るところから、思い出が生まれるツアーがスタート。 ○吹き戻し作成体験 息を吹き込むだけの簡単な遊び方ながら、吹き戻しにはちゃんとした原理があり、作成体験の前に講師から説明。 動画で紹介される作り方を見ながら、参加者全員が一人6個の吹き戻しを作成。親に負けじと子どもたちも頑張って作った。      

時間	項目	詳細
12:00	farm studio 「農業王国・淡路島」 大阪湾を望む高台で 四季折々の農業体験 が可能。	気分はタイムスリップ！ 豊かな自然の中で、かまどでの炊飯、自分で摘んだいちごで ジャム作りなど、初めての体験ばかり。 ○枯枝拾い体験 バスから farm studio へ向かう際、かまどでの炊飯に使用 する枯れ枝を拾いながら移動。 ○麦踏体験 畑で育てている麦を強く育てるために行う麦踏を体験。 ○昼食 昼食はかまどご飯と淡路島食材を使った特製のお弁当。 ○いちごジャムづくり体験 ビニールハウスで育てているいちごを各家庭で 6 つずつ 収穫、それを家庭ごとにジャムに加工し、お土産として持 ち帰った。

時間	項目	詳細
		   
15:50	うずしおクルーズ 「世界最大級のうずしお」を間近で見られる迫力満点のクルーズ。使用船舶は、約 160 年前に「勝海舟」が太平洋横断を果たした「咸臨丸」の復元船。	淡路島での海事観光の代表格「うずしおクルーズ」！寒い日でしたが、観潮には適した大潮で豪快な渦に大興奮。 ○うずしおクルーズ乗船 約 1 時間のクルーズ体験。メインのうずしお鑑賞のほか、大鳴門橋や淡路島の港、自然を眺めることができ、船内ではタッチパネルを操作し、付近で獲れる魚の情報を見ることが可能。      

時間	項目	詳細
		 
17:30	ホテル＆リゾート南淡路 「家族で楽しむ」 海・花・星の雄大な自然を感じる淡路島リゾート。	夕食・宿泊は「ホテル＆リゾート南淡路」！ 旅先での食事は格別、大きな広間を本ツアーで貸し切り、家族単位で豪華な食事を楽しんだ後は、お部屋でゆっくり休んでまた明日。 目覚めれば、楽しい2日目がスタート。 ○宿泊 宿泊先の館内案内を行った。 ○夕食 18:30 よりツアー参加者のみの夕食会場が準備され、海鮮をはじめとした料理を満喫。      

時間	項目	詳細
1月29日(日)〈2日目〉		
9:20	淡路島牧場 酪農王国淡路島で動物たちとのふれあい、乳搾りをはじめとした体験メニュー。 特産の乳製品も多数あり。	かつて「花とミルクとオレンジの島」と言われた淡路島！牛乳は毎日飲むけど、どうやって作られるの？ バターはこんな風にして出来るんだ、新しい発見がいっぱい。 ○バターづくり体験 1人一つずつ、バター作りを体験。 牧場でとれた牛乳をはじめとした材料をケースに入れて振ることで成分を固まり、バターが完成。作ったバターは、残念ながら衛生上持ち帰ることができないため、クラッカーにつけてその場で食した。 ○乳しぼり体験 大きな牛におっかなびっくりの乳しぼり体験。
11:20	体験プログラム ・藍染工房 AiAii 自分たちの手で藍を育てながら、本格的な天然藍工房での藍染め体験のほか、オリジナルショップを展開。	2部制の入れ替えで2つのプログラムを実施。 自分だけの一品に大満足「藍染め体験」！ ○藍染工房 AiAii 淡路島で栽培された天然藍を用いて、ハンカチの藍染めを体験。作りたいデザインを輪ゴムやクリップなどを用いてセッティング。 染色用の液体に2分程度浸け、染めた布を洗うという流れを計3～4回程度繰り返し、最後に脱水・乾燥して完成。自分だけのオリジナル・ハンカチを広げ「はいポーズ」。



・すもとレトロ
こみち散策

古民家や空き家を利用したノスタルジックな雰囲気の店が立ち並ぶスポット。

昼食と散策を兼ねて「昭和浪漫」へタイムスリップ！

○すもとレトロこみち散策

古民家を改修した建物や昔ながらの駄菓子屋、商店街などが集まるすもとレトロこみち。昭和を感じながら気になるお店に立ち寄ったり、のんびり町歩きしたり、自由に散策する時間。散策時間中に自由に昼食を摂っていただき、領収書をスタッフに提示し、1,500円/人を精算。



18:00	三ノ宮駅	○淡路 SA にて休憩 バスで三ノ宮駅へ戻る途中、淡路 SA へ立ち寄り、休憩およびお土産購入の時間を設けた。その際、スタンプラリーの景品配布も同時に行った。 ○解散 17:00 すぎにラウンドワン三宮駅前店前にて解散した。
-------	------	--

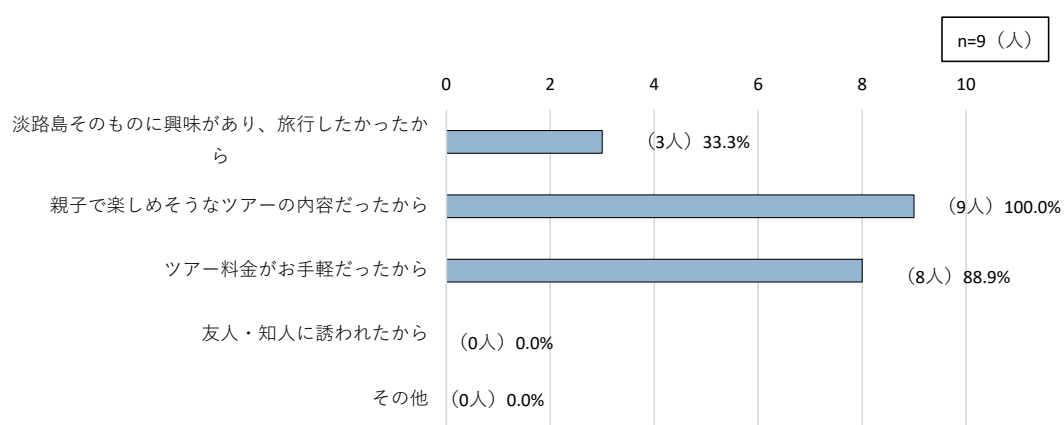
④参加者アンケート調査

ツアー参加者に対して実施したアンケートの結果は、以下のとおりである。

大人の回答（n=9名）

■ 今回のツアーに申し込んだ動機（複数回答可）

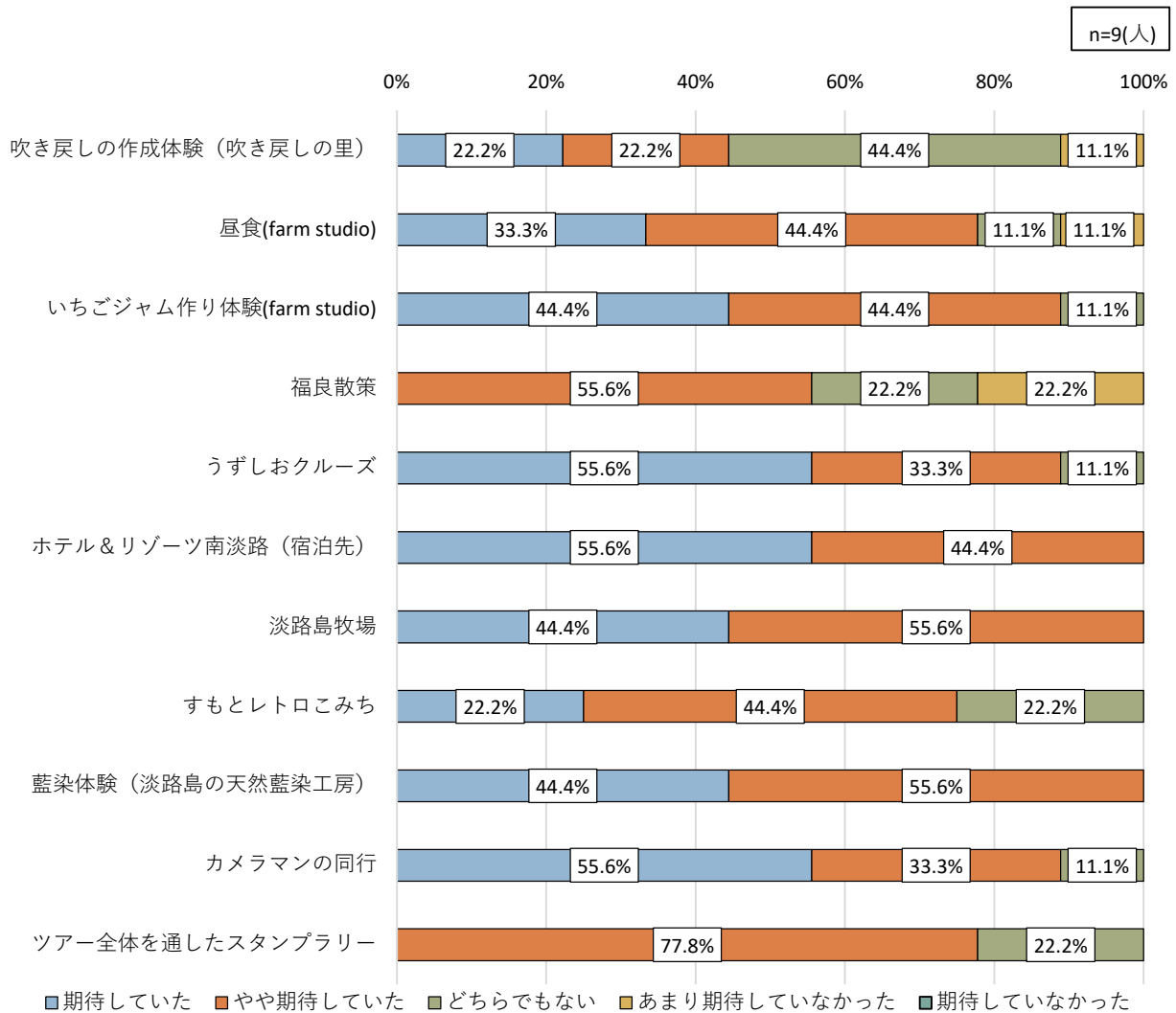
＜親子で楽しめそうなツアーの内容だったから＞については全員が回答している。次いで＜ツアー料金がお手軽だったから＞が 88.9%と、参加するにあたり重要な理由となっている。一方で＜淡路島そのものに興味があり、旅行したかったから＞と回答した割合は 33.3%と低い。今回、モニターツアー実施にあたり低価格で参加可能であったため本ツアーを選んでいるが、必ずしも淡路島に魅力を感じて本ツアーを選んでいるわけではないことがうかがえる。



■ ツアー参加前の期待感（個別コンテンツ）

＜期待していた＞の割合が高いのは「うずしおクルーズ」「ホテル＆リゾート南淡路」「カメラマンの同行」である。特に「ホテル＆リゾート南淡路」については、＜やや期待していた＞も含めると全員が期待していたと回答している。

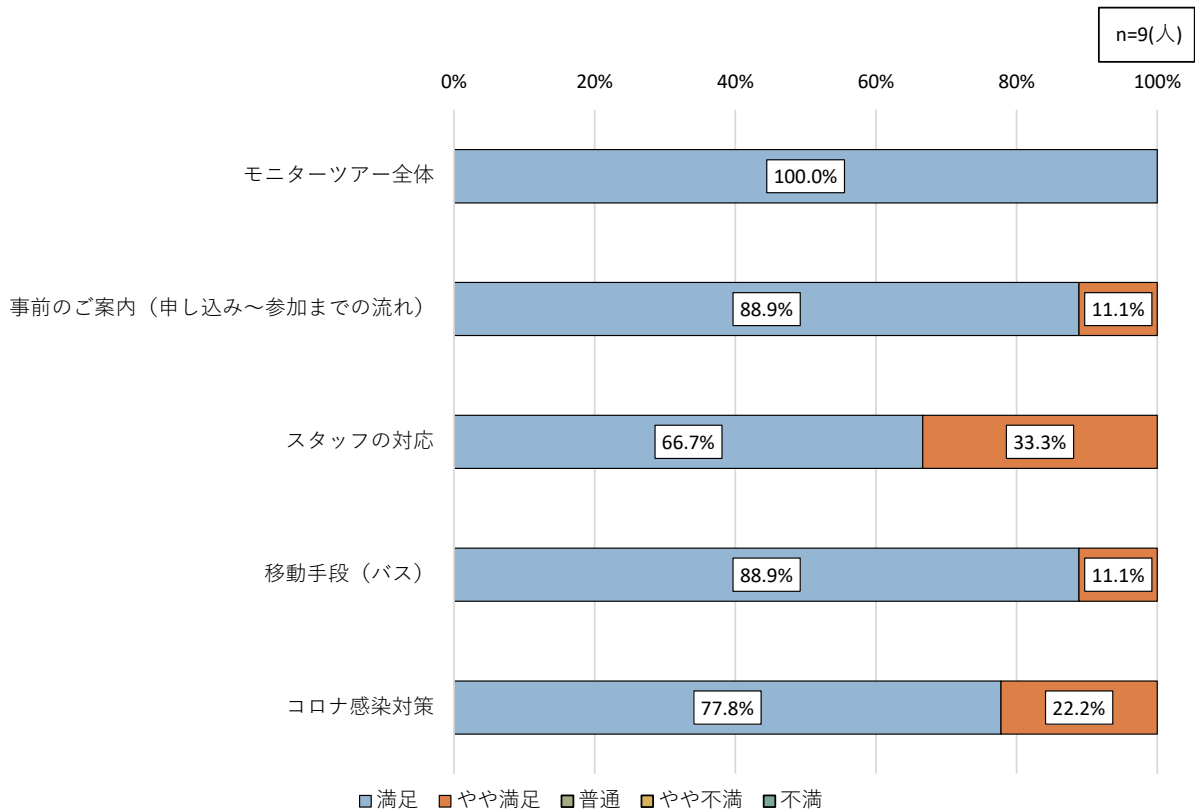
一方で、福良散策やすもとレトロこみちなど、まちなかを歩くコンテンツは他の施設を訪れるコンテンツと比較して期待度が低い。また、ツアーを通じてのスタンプラリーは、＜やや期待していた＞と回答しているのは 77.8%であるが＜期待していた＞と回答した人はいなかった。



■ 満足度[モニターツアー全体]

モニターツアー全体については、＜満足＞が 100%と非常に高い結果となった。

項目別にみても、すべての項目で全員が＜満足＞＜やや満足＞と回答しており、ツアー全体の細かな対応に対しても満足していることがわかる。



■ 満足度[個別コンテンツ]

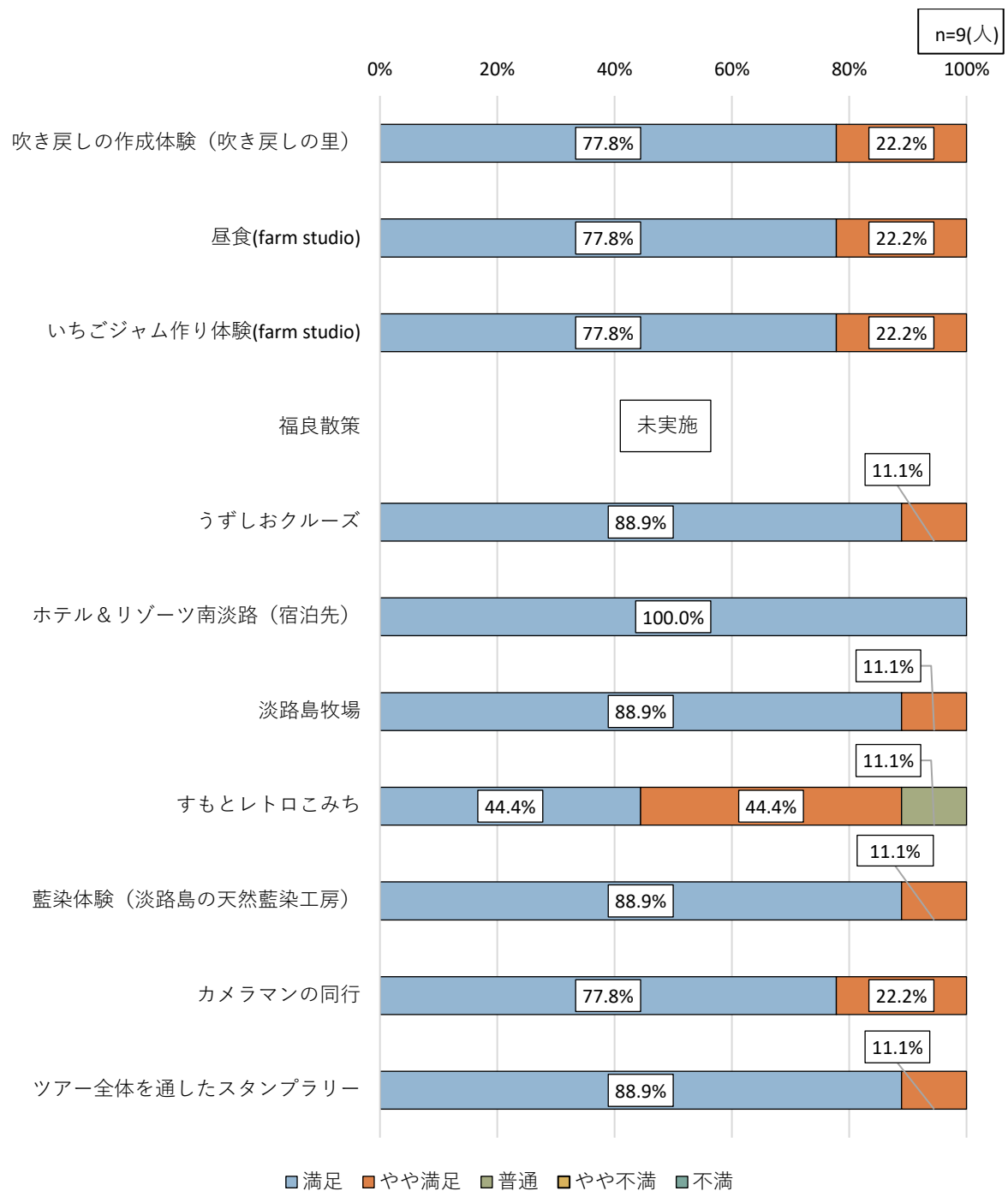
各項目について、全体的に満足度が高い結果となった。

特に満足度が高かったコンテンツは「ホテル&リゾート南淡路」である。全員が＜満足＞と回答しており、参加者全員が満足して宿泊したことが分かる。事前の期待度以上の満足度を与えることとなった。

次いで「うずしおクルーズ」「淡路島牧場」「藍染体験」の満足度が高く、＜満足した＞と回答した割合が 88.9%となっている。海事コンテンツであるうずしおクルーズは、厳しい寒さではあったが渦を見る環境として適している日であり、いくつものうずしおを見られたことから満足度が高まったと考えられる。また「淡路島牧場」「藍染体験」など、体験系のコンテンツについても、満足度が高い。

また「ツアー全体を通じたスタンプラリー」の満足度も高い。各コンテンツにおいて、メインの体験だけではなく子どもたちを飽きさせない工夫となったことが、大人からの高評価の理由になっていると考えられる。

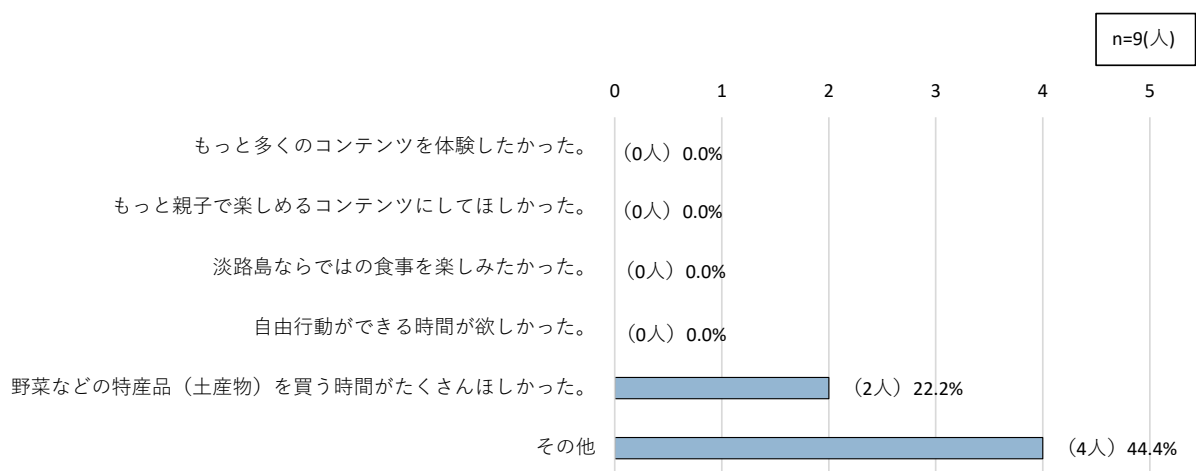
一方で、「すもとレトロこみち」は他のコンテンツと比較するとやや評価が低い。昼食を含めた散策の時間としたが、時間を持て余した可能性が考えられる。



■ 今回のツアーに足りなかったこと（複数回答可）

＜野菜などの特産品（土産物）を買う機会が欲しかった＞が 22.2%と国生みツアー同様最も多かった。福良散策の際、福良マルシェを訪れ野菜などを購入できる時間を確保する予定をしていたが、直前のコンテンツが押したため、福良散策を中止としたこともあり、お土産購入の時間を十分にとることができなかったことが要因と考えられる。

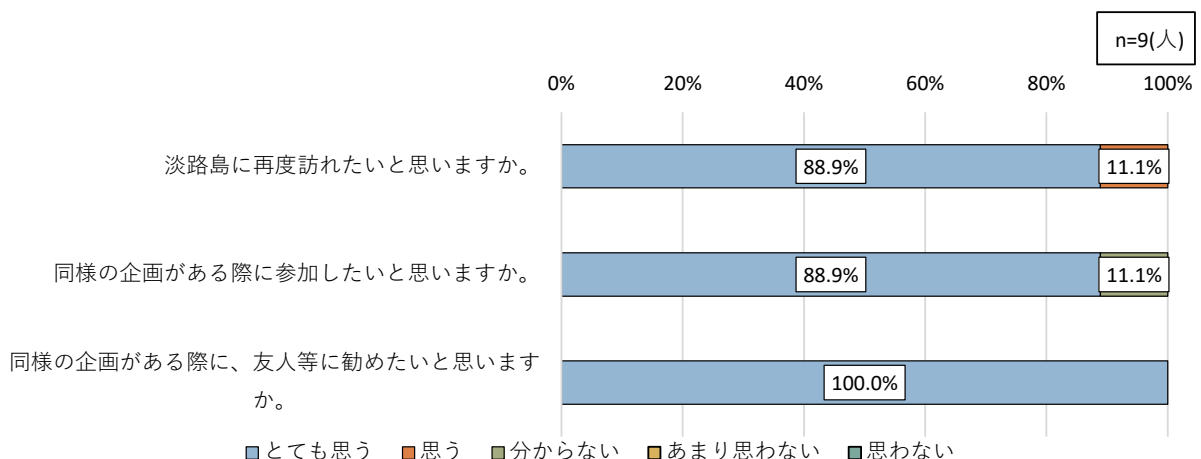
＜その他＞の意見としては、「ちょうど良かった」「充分でした」という意見もあった一方、「特に1日目が少し盛りだくさんすぎた。」という意見がみられた。国生みツアーでも「時間にゆとりがありちょうど良かった」というような意見もあったことから、ツアーを実施するうえでコンテンツ数を調整することが必要である。また、「バスの中などで淡路に関する歴史や地域の話や、子どもでも分かるように紹介してほしい。」という意見もあり、淡路で実施するツアーとして地域性を求められている部分もあった。



■ 今後の意向

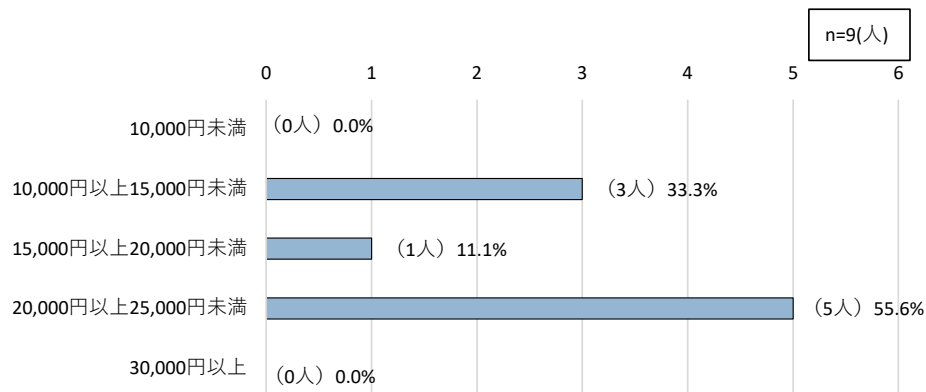
「淡路島に再度訪れたいと思いますか。」という設問に対しては、＜とても思う＞が 88.9%と最も多く、＜思う＞も含め全員が再来訪の意向を持っていることが分かった。

「同様の企画がある際に参加したいと思いますか。」の設問に対しては 88.9%が、「同様の企画がある際に、友人等に勧めたいと思いますか。」の設問に対しては 100%が＜とても思う＞と回答しており、再来訪につながるコンテンツ造成となっている。



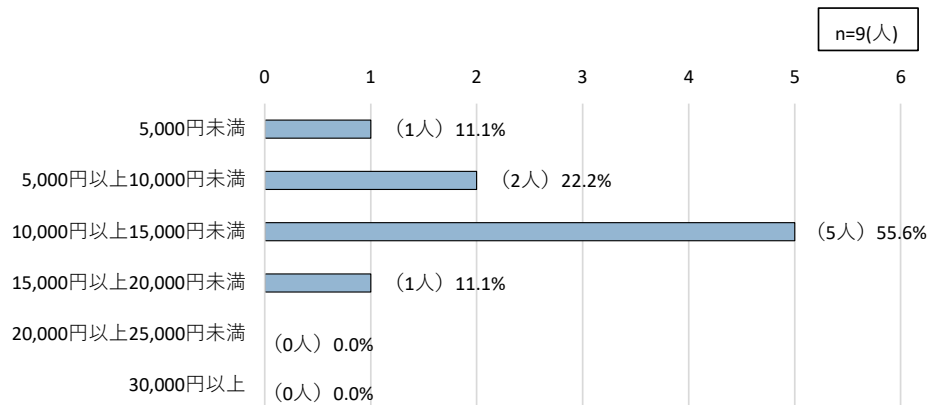
■ 本ツアーの妥当な価格帯（大人）

＜20,000 円以上 25,000 円未満＞が 55.6%と最も多い。次いで＜10,000 円以上 15,000 円未満＞が 33.3%となっている。妥当と感じる価格帯に、やや個人差があることがわかる。



■ 本ツアーの妥当な価格帯（子ども）

＜10,000 円以上 15,000 円未満＞が 55.6%と最も多い。次いで＜5,000 円以上 10,000 円未満＞が 22.2%となっている。5,000 円未満が妥当であるという回答もあり、今回の設定価格未満が妥当であるという意見もあった。



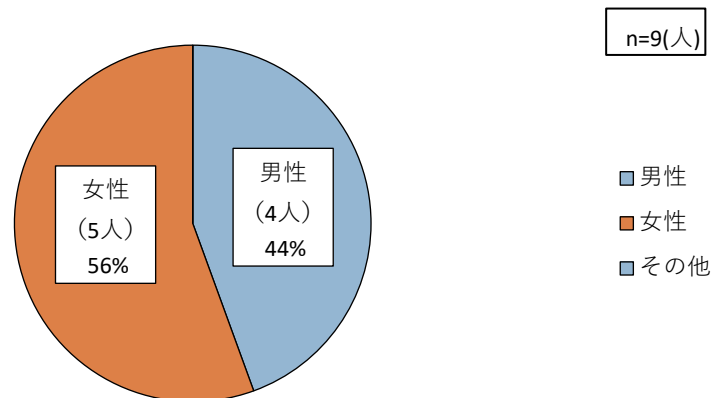
■ 全体的な感想（意見・提案）

分類	性別	年齢	自由意見
ツアー全体	女性	30 代	とても寒かったですが、貴重な体験をたくさんすることができました。麦踏や牛糞など驚きの連続でしたが、淡路の食材いっぱいのお弁当と米、イチゴのおいしさには感動しました。
	女性	40 代	普段の旅行は車で行くことがほとんどのため、バスツアーは新鮮でした。自分たちで旅行していたら行かないようなところもたくさん連れて行っていただけて楽しかったです。スタッフの皆さんにも親切にいただき、ありがとうございました。

分類	性別	年齢	自由意見
	女性	30代	一度体験したコンテンツを再度訪れるかといわれるとわからない。リピートしたくなる要素が必要だと思う。あそこあの人にまた会いたいという魅力もその一つだと思います。今回だと藍染”Tシャツ”はまたやりに行ってみたいと思いました。
	女性	40代	個人の旅行ではあまり行かないところ（吹き戻しや藍染など）に行けて楽しかったです。強いて言うならバス内が静かで寂しかったです。せっかく添乗員さんが数名いてくださるので、各箇所の説明や盛り上がるゲームなどしてもらえたらよかったなと思いました。
食事	男性	40代	各所の食事がとても豪華で（特にホテル）大変ありがたかったです。
	女性	30代	ホテルのお料理もおいしく、2日間楽しい淡路旅でした！
	女性	30代	ホテルの食事がおいしかった。夏にまた泊まりたいと思いました。
	男性	30代	とても楽しかったです。ホテルの食事がとてもボリュームがあり、品ぞろえも味も素晴らしかったです。男性でも大満足でした。親子で楽しめるプログラムがたくさんで、とても良い体験をさせていただきました。
個別コンテンツ	男性	40代	ジャムは1世帯に1瓶の割り当てしかなかったのが5人家族には少し不公平に感じました。
	男性	40代	体験満載で子供も大人もとても楽しかったです。牧場のポニー乗り体験は、今の時代理解されないかもしれませんがね（今回のツアーには含まれていませんが一応）。
	女性	30代	うずしおクルーズは、天候の心配がありましたが、乗船することができて良かったです。今度はもう少し暖かい時期にも乗ってみたいです。
	女性	30代	フォトスポット探しを子供たちはとても喜んでいました。
	男性	40代	農場体験の際の服装の事前案内があると良かったかも。（靴がみんな汚れていた）
カメラマン	女性	30代	2日間ずっとカメラマンのトミーさんが同行してくださり、たくさん写真を撮ってくださったのがとてもありがたかったです。
	女性	30代	カメラマンさんがいらっしやったので家族写真がたくさん撮ってもらえたのもうれしかったです。

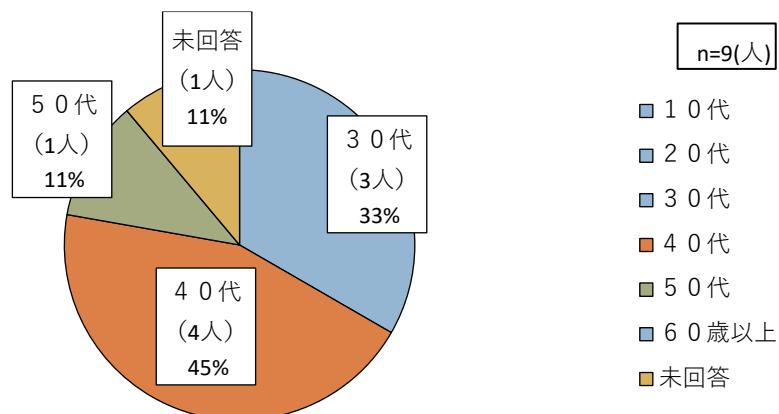
■ 参加者属性[性別]

＜男性＞が 44.4%、＜女性＞が 55.6%であった。1 組は母親だけの参加であったが、それ以外の 4 組は両親とも参加していた。



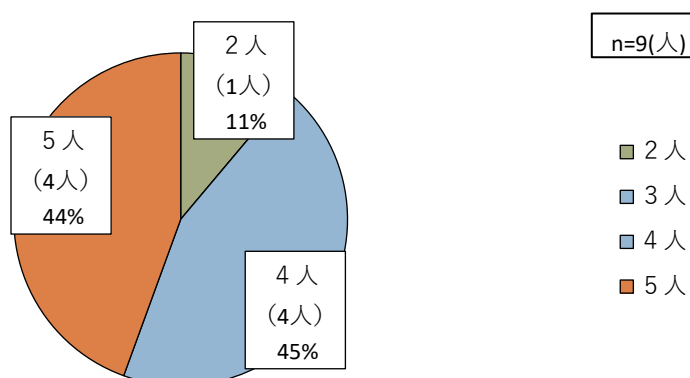
■ 参加者属性[年齢]

＜40 代＞が 44.4%と最も多く、次いで＜30 代＞が 33.3%の参加であった。



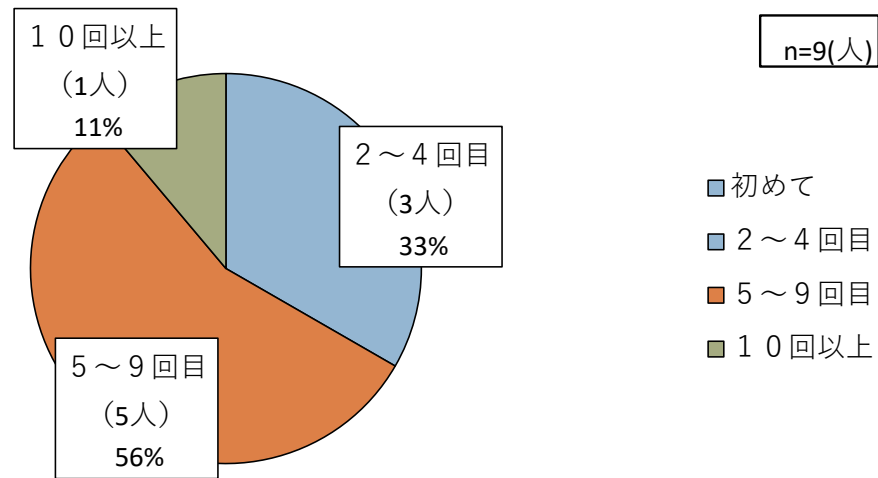
■ 参加者属性[参加人数]

＜5 人＞＜4 人＞での参加がそれぞれ 44.4%と最も多かった。



■ 参加者属性[淡路島への来訪経験]

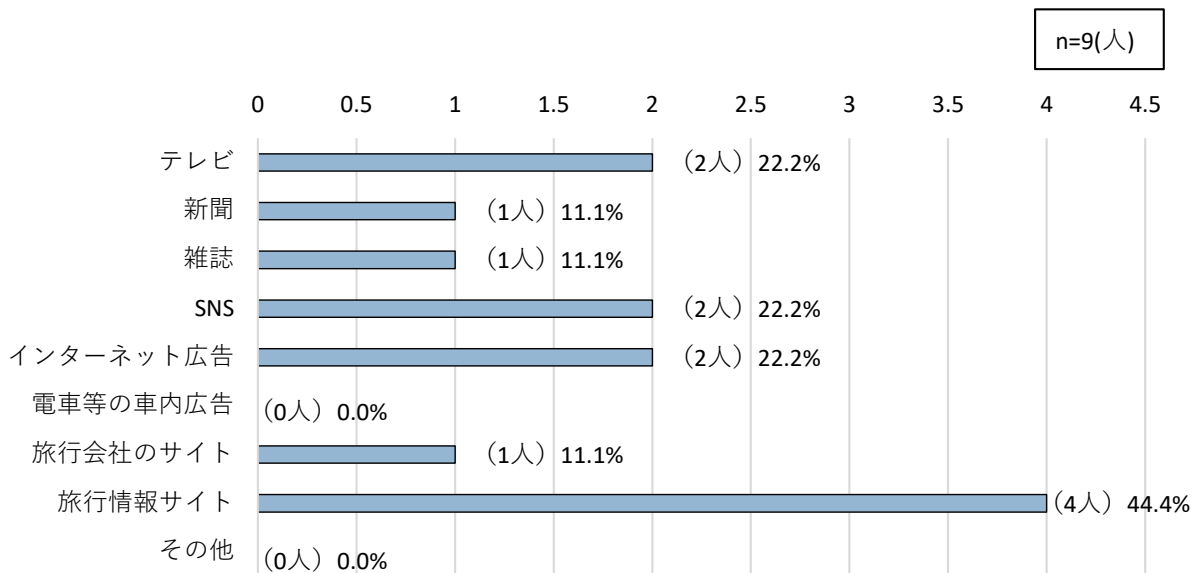
<5～9回目>が55.6%と、再来訪者の多い結果となった。



■ 旅行に行く際によく利用する情報源

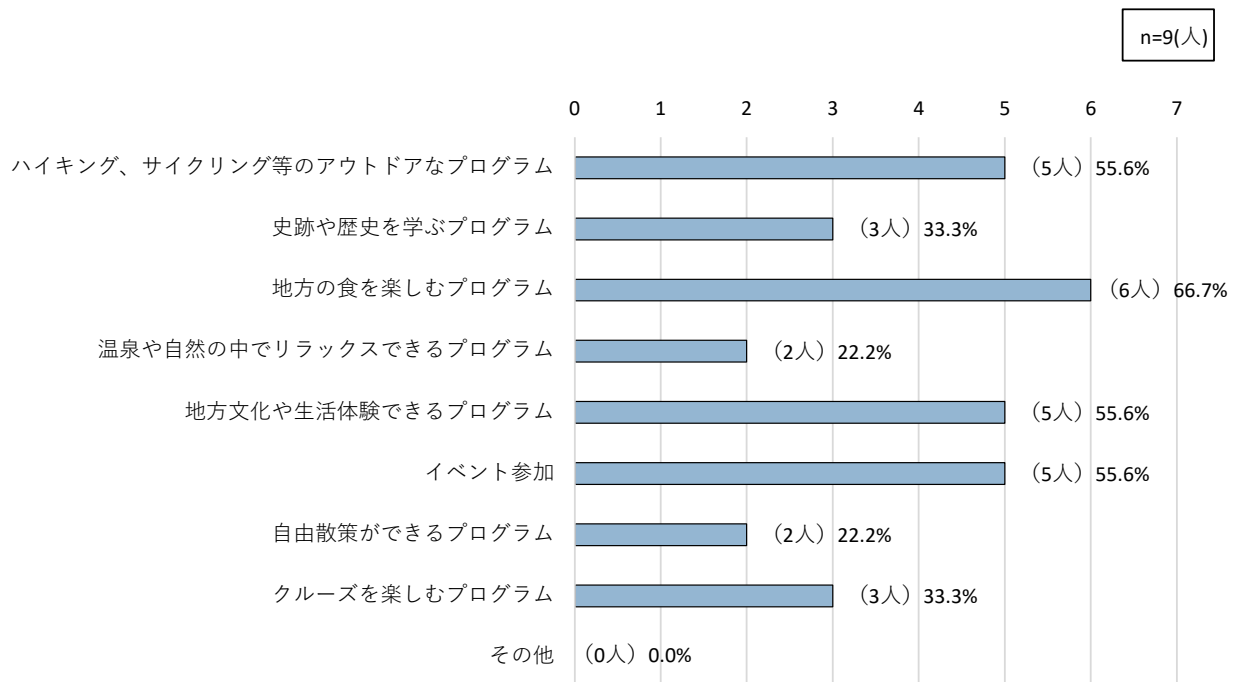
<旅行情報サイト>と回答した割合が44.4%と最も高く、旅行情報サイトにて情報発信をすることが旅行者取り込みに向けて重要であることがわかる。

次いで<テレビ><SNS><インターネット広告>が22.2%となっている。また<新聞>や<雑誌>も回答されている。SNSやインターネットからの情報収集が主になってきている風潮がある中で、テレビや新聞、雑誌なども情報源として継続的に利用されていることがわかる。



■ 今後、親子で旅行に行く際にどのような経験がしたいか（複数回答可）

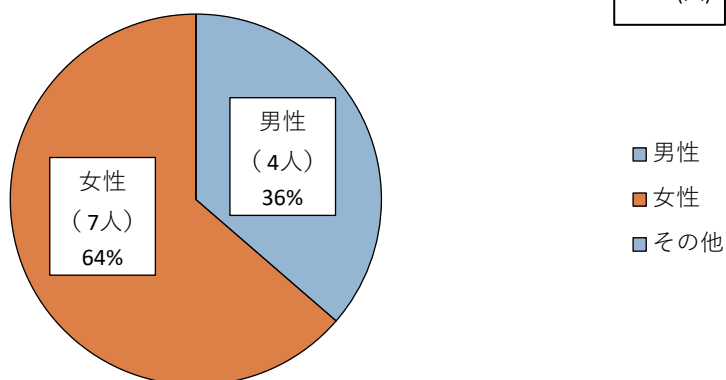
＜地方の食を楽しむプログラム＞が国生みツアー同様、最も高く **66.7%**が回答している。旅行において、食事が重要視されていることがわかる。次いで多いのが＜ハイキング、サイクリング等のアウトドアなプログラム＞＜地方文化や生活体験ができるプログラム＞＜イベント参加＞であり、**55.6%**が回答している。親子で参加するにあたり、体験をしたり体を動かせるようなプログラム人気が高いことがわかる。



子どもの回答 (n=11 名)

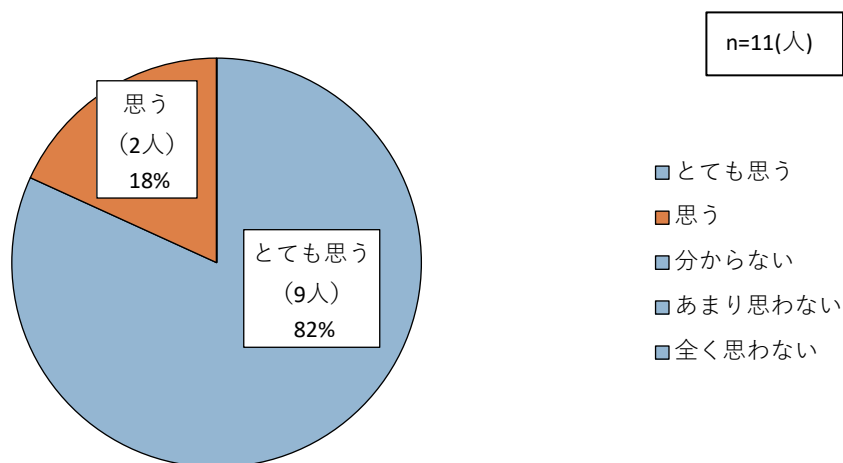
■ 参加者属性[性別]

＜男性＞が 36.4%、＜女性＞が 63.6%の参加であった。



■ 淡路島への再来訪意向

淡路島へまた来たいと思いますか？という問いに対し、＜とても思う＞が 81.8%、＜思う＞が 18.2%であり、今回のツアーを通じてまた来たいという意向が生まれていることがわかる。

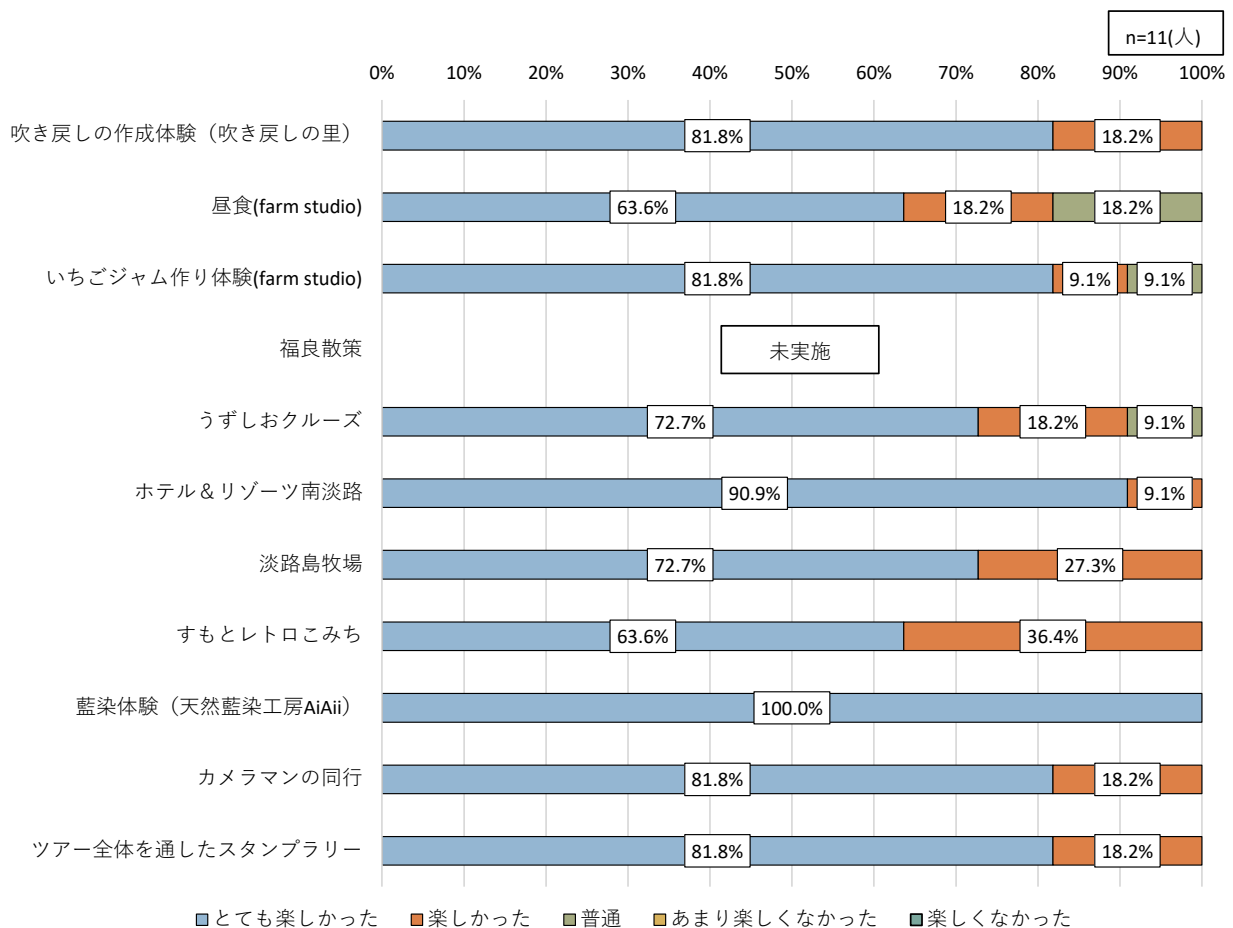


■ ツアーの満足度[個別コンテンツ]

最も満足度が高かったのが「藍染体験」で、回答者全員から<とても楽しかった>との回答を得た。

次いで「ホテル&リゾート南淡路」は<とても楽しかった>が 90.9%、<楽しかった>が 9.1%と非常に高い満足度であった。

その他、いずれのコンテンツについても、<とても楽しかった><楽しかった>と回答した割合は 80%以上となっており、子どもたちにとっても全体的に満足できるコンテンツとなっている。一方、farm studio での昼食やいちごジャム作り体験については、<楽しくなかった>という回答もあった。これについては、お弁当の量が多く、食べきれていない状態のまま次のコンテンツに進んでしまったため、十分に楽しめなかったという意見をツアー中に直接いただいております、食事の量と時間の調整は十分に検討する必要があります。



■ 全体的な感想（意見・提案）

分類	性別	年齢	自由意見
ツアー全体	女性	7 歳	とても楽しかったのでまたすごくいきたいです。
	男性	9 歳	楽しかったです。友達とまた一緒に行きたいです。
	女性	6 歳	いろいろなお店や体験がいっぱいあったから楽しかったです。
	女性	9 歳	すごく楽しかったよ。
	男性	11 歳	楽しかった。
	男性	7 歳	スタッフの方とお話できて楽しかった。
食事	女性	10 歳	ホテルのご飯もとてもおいしくて、大満足です。淡路島にはおいしい玉ねぎなどあって、とても楽しかったので、また来たいです。
個別コンテンツ	女性	7 歳	藍染で染めるときやうずしおをちゃんと見れて、うれしかったです。（すごくすごく）
	男性	5 歳	すごく楽しかったです。中でも牛の乳しぼりが一番楽しかったです。
	女性	7 歳	一番楽しかったことがホテルと吹き戻しを作ったことです。
カメラマン	男性	5 歳	カメラマンさんにたくさん写真も撮ってもらって良かったです！

4 ツアー実施事業者および地域関係者アンケート調査

(1) ツアー実施事業者アンケート調査

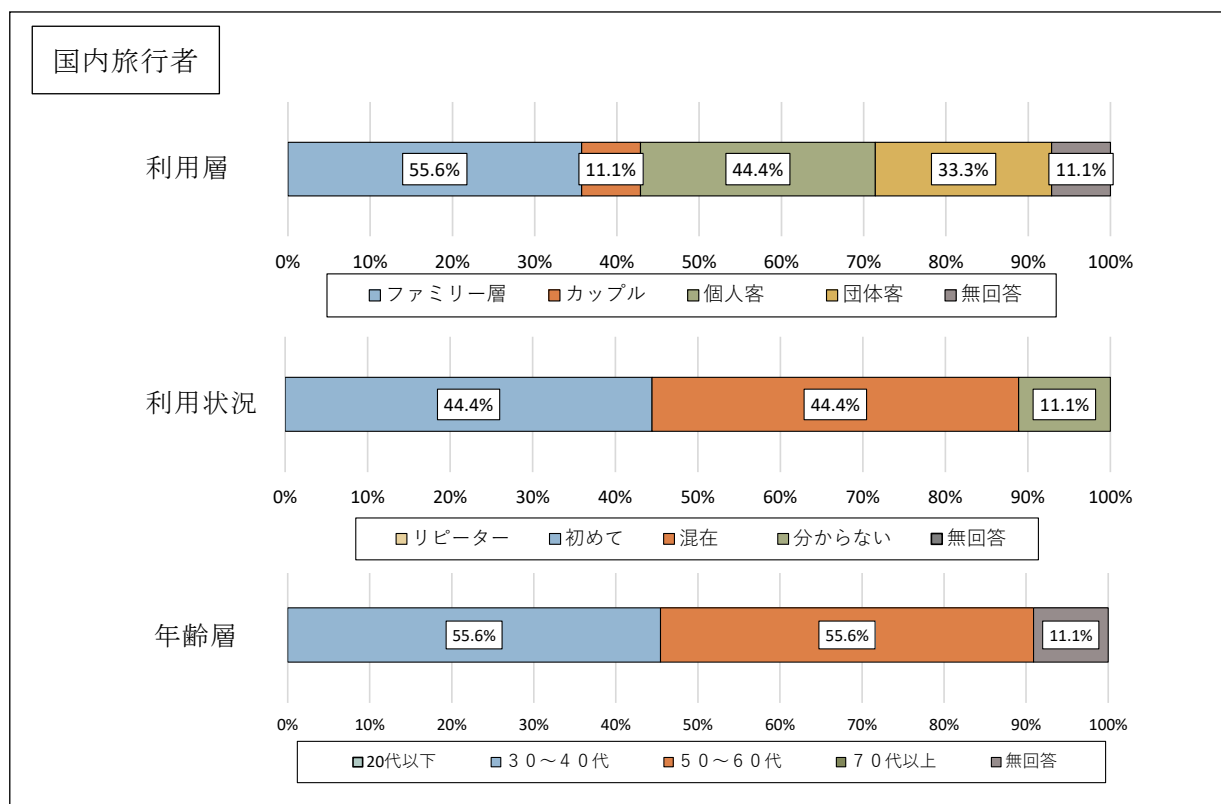
事業者目線での淡路島の観光に関する状況を把握し、今後のツアー造成へとつなげるため、今回モニターツアー実施に携わった9事業者を対象に、利用客層や現在の取り組みに関する事業者アンケートを実施した。以下は、回答結果を取りまとめたものである。

■ 各施設における利用者状況・動向等について

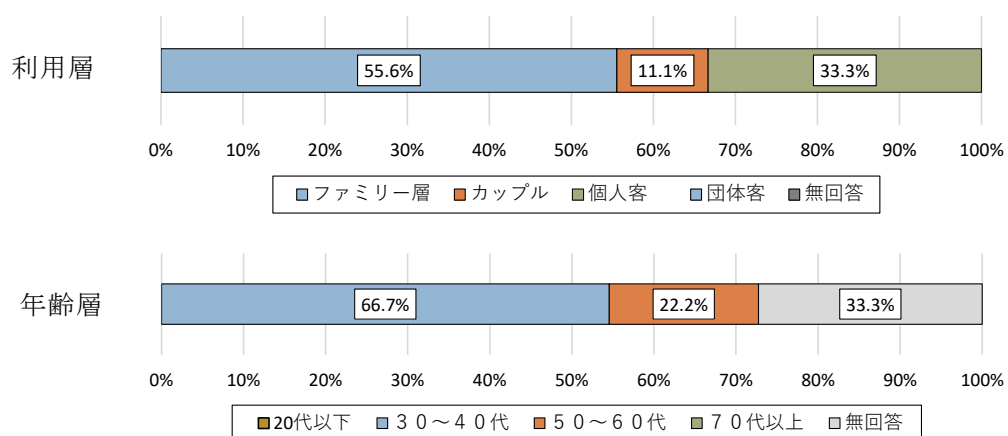
アンケートの結果、淡路島におけるインバウンド観光客の割合が1割を超える事業者はコロナ前、現在ともなかった。9事業者中5事業者ではインバウンド割合は0と回答しており、淡路島の現状として、インバウンドの受け入れが進んでいない状況にあることがわかる。

利用層としては、国内、インバウンドともファミリー層や個人客の割合が高い。利用状況としては、初めて利用する方が多い事業者とリピーターも混在している事業者が同程度である。年齢層は30～60代とやや高めの年齢層が中心である。

個別の意見を見ると、社員旅行や修学旅行などの団体旅行として訪れられる事業者も一定数ある。また、インバウンドの前に、関西圏であっても知名度が低いため、知名度を上げていきたいという意見もあった。



インバウンド



事業者	意見
A	● そもそも沼島は国内での認知度が低く大阪在住の友人知人ですら知らないことが多い。もっと言うと同じ兵庫県最大の都市神戸の夜の街でさえも沼島を知っている人には中々会わない。知っていたとしても訪れたことがあるのは更にまれである。 ● 海外からのインバウンドももちろん考えているが、国内、近畿圏、関西圏、全国からの観光客にも注目したい。
C	● 国内観光は高年齢層が多いが、近年は歴史をよく勉強された若い方々が増えた印象。コロナ前よりはコロナの期間中は団体客が減ったが、ファミリー層はかなり増えた。
D	● 宿泊事業を始めたと同時にコロナウイルス蔓延のため、ほとんど利用者がいなかった。昨年の春より徐々に認知、利用され始めた。 ● GW、夏休みなどの利用が多くあった。宿泊利用者のほとんどは新規顧客。また、キャンプ利用に関しては朝日を見ることを目的に来られるリピーターがいる。
E	● インバウンドについては、日本に何度も来たことのあるお客様をターゲットに、淡路島の暮らしや自然、食をコンセプトにしたコーディネートが多い。
F	● インバウンドで訪れられるお客様は訪日経験のある方が多く、淡路島でのより深い体験を求めてくる方が多い。純粋にモノ作りが好きなかたの来客も多数ある。
G	● 比較的に年齢層はバラバラである。ファミリー、カップル、大学生同士、高齢者同士、社員旅行、教育旅行など。時期によって客層に傾向がある。 ● リピーターは少ないが、来場者からの口コミ（話、SNS 含む）で来られる方が多い印象。インバウンドは個人客のみ。ホテルからの紹介やネットで調べたなどで来場。 ● コロナ前はインバウンドの団体問合せがあったが、現在は無し。団体が減って、個人客の比率が増えた。 ● 事前に調べての来場も多いが、SA の看板やチラシで来場されるケースも散見される。テレビでは以前からあるが、近頃は YouTube で紹介されたのを見て来場する方が徐々に増えている印象。

事業者	意見
H	● 事業者より要請があった場合、講演会やワークショップなどを実施します。
I	● 初めて来訪するファミリー層が多く、修学旅行の団体客ではリピーターが多い。 ● コロナ前とコロナ後では客数は減ったが、客層の変化はない。

■ 利用者（国内客、インバウンド）から寄せられている声について

淡路島の歴史や自然を中心とした、それぞれのコンテンツに対して肯定的な意見が出ている。漁業見学や海辺のシチュエーションを利用したコンテンツは、インバウンドからも高評価を得ていることがわかる。

一方でネガティブな意見として、まず挙げられるのが二次交通の不便さである。淡路島内での公共交通機関はバスが主体となるが、それらも基本的には住民向けのダイヤや経路に設定されているため、観光客が利用するには不向きな場合が多い。インバウンドも受け入れられる環境づくりとして、移動手段の充実が課題となっている。

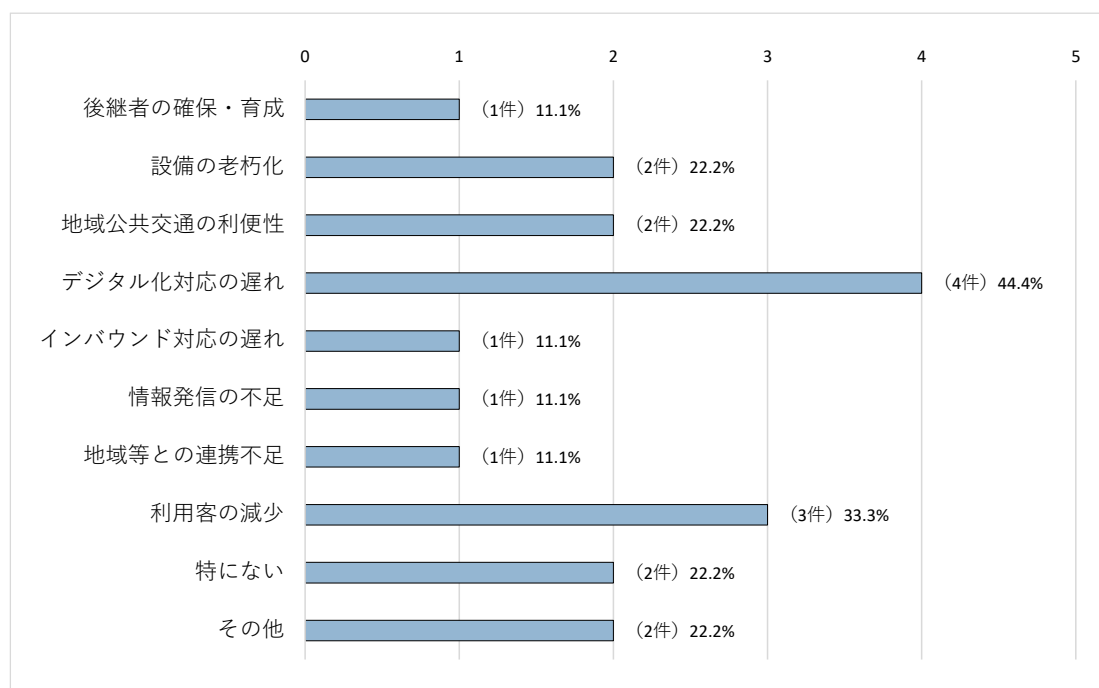
分類	事業者	意見
全体	A	<u>ポジティブな意見</u> ● 体験については、また来たいなどの肯定的な声が多い。 <u>ネガティブな意見</u> ● 交通が不便、飲食店が少ない、トイレが少ないなどの声を聞くことがある。
	B	<u>ポジティブな意見</u> ● 空气がいい、雰囲気がいい、船に乗って来るだけでワクワクする。 <u>ネガティブな意見</u> ● トイレが少ない、シーズンによって食べるところがない、お正月はお店が全く開いていない。
	C	<u>ポジティブな意見</u> ● 日本の原点の歴史をよく知ることができた。 <u>ネガティブな意見</u> ● 駐車場が少ない、道路が渋滞する
	D	<u>ポジティブな意見</u> ● 屋上からの景色がきれい。 ● 個室のお風呂からゆっくりと海を見ながら過ごすことができる。 ● 収穫体験が楽しい。 <u>ネガティブな意見</u> ● 交通が不便。 ● 周辺に飲食店、コンビニが少ない。
	E	<u>ポジティブな意見</u> ● 特に洲本市については公共交通機関でアクセス可能なので、ワーケーションなども含めて継続しやすい。昼も夜も飲食店も多く、自然も豊かなので、リフレッシュしながら地元のみなさんともじっくり交流できる。

分類	事業者	意見
	F	<u>ポジティブな意見</u> ● それぞれ個性あるオリジナルの作品作りができるのがうれしい。
	G	<u>ネガティブな意見</u> ● 公共交通機関で淡路島を観光するのは大変、本数が少ない。 ● スポットに距離があって、淡路島内での移動が思っていたより大変、観光客の想像より島が大きい。
	I	<u>ポジティブな意見</u> ● 普段できない体験ができることに對してうれしいという声をいただいている。 ● スイーツが美味しい。
インバウンド	E	<u>ポジティブな意見</u> ● 都会ではできない漁見学や特別なシチュエーション（海岸など）での地元料理人の特別ランチ提供などが高評価をいただいている。
	F	<u>ポジティブな意見</u> ● スタッフによる英語対応があるため、日本語が話せなくても安心して参加することができる。
	I	<u>ネガティブな意見</u> ● 国内で外国紙幣を使えるところが少ないとの意見。（当施設はクレジットカード決済で支払）

■ 運営上・経営上の問題点（複数回答可）

運営上・経営上の課題点として最も多く挙げられているのは「デジタル化対応の遅れ」である。案内やキャッシュレス化等を含め、事業者の認識としてデジタル化が進んでいないという課題がある。また、根本的な課題として「利用客の減少」が挙げられている。

一方で、観光客におけるインバウンドの割合が1割未満と低いにも関わらず、「インバウンド対応の遅れ」について問題と感じている事業者は1事業者のみと少ない。インバウンドをターゲット層としていない事業者が多いことがわかる。



■ 利用促進・利便性向上・経営改善等のために行っていること及びその成果・課題、今後計画していること

アクティビティや体験を充実させることによる利用促進、キャッシュレス化の導入などによる利便性の向上、古くから残る景観や建物の維持などに回答が大別される。特に景観や建物の維持については、今回のツアーテーマとして国生み神話を取り上げたこともあり、ハード面の改修や情報発信によって地域性が損なわれることを危惧している動きもみられる。

分類	事業者	意見
施設面・設備面	A	● キャッシュレス化は図りたいところだが、組織体系的に当面は難しいと思われる。
	C	● 景観を損なわずに日本古来の技法を継承できるよう境内整備を進めている。古代から継承してきた日本の伝統文化を後世に伝えられるよう努めている。
	D	● バーベキュー場の設置。 ● アクティビティとしてサイクリングを追加。 ● ふるさと納税返礼品として宿泊プランの追加。
	E	● 企業がワーケーションや研修プログラムを継続していけるよう、新たに淡路島で事業をはじめられるようなサポートをし、事業を成長させながら企業・地域ともに発展していける関係性を構築している。
	F	● paypay などのキャッシュレス決済推進。 ● オリジナリティのある体験ができるようにしたり、相談したりできるような自由な空間を提供している。

分類	事業者	意見
	G	● 5 - 6 年前からキャッシュレス決済を準備しており、インバウンド観光客でも困らず、利用者の利便性が向上した。 ● 店内のデジタルサイネージを利用して PR を行っている。 ● 男女別トイレと男女共用トイレを用意し、ジェンダー対応を行っている。 ● 単価アップのために購入コーナーを都度改善している。グッズの種類なども増やして展開している。
	I	● 若者やお子様向けに装飾をしている。
PR・情報発信面	A	● 神話に興味があるなどコアな客層が中心なので、お客様の SNS に頼っている。そのこともあり、写真や動画の撮影には好意的に協力している。
	B	● 昨年、ホームページを開いたため、普段の様子や、地域の様子を SNS にて発信を行っている。
	C	● 行わない。
	D	● SNS を使ったの情報発信を行っている。 ● シーズン毎（GW、夏、秋）に自社、OTA で宣伝を計画している
	E	● 定期的にプレスリリースを行い、事業に興味をもってくれるメディアとの関係性を構築していった。 ● 企業が淡路島での研修プログラムを検討できるような情報発信についてはこれからより強化していきたい。
	G	● 発信、プレゼント企画など、SNS を活用している。 ● SNS で定期的に発信するのは大変だが、インスタのリポストや Twitter のリプライなど、利用者が投稿したものを紹介するだけでも始めやすいと感じている。
	H	● 淡路島に関する歴史の普及啓発イベントに取り組んでいる。

■ インバウンド需要の増加に向けて取り組んでいること及びその成果・課題、今後計画していること

施設におけるハード整備ではなく、まずはインバウンドを受け入れる事業の造成や商品開発に取り組みたいという事業者の意見が複数出てきている。またホームページの多言語化やスタッフの育成といった、ソフト的な面での集客や対応策に取り組もうとしている事業者が複数あることがわかる。一方で、地域の雰囲気や事業の雰囲気を大事にするため、英語の看板対応や地域でかかわる人たちの多言語化は必ずしも必要ないという考え方もみられる。

分類	事業者	意見
すでに取り組んでいる内容・課題	A	● コンテンツ自体を、英語で話せる必要はないと考えている。予約から会計、乗船までが英語で対応できれば十分と考えており、その部分についてはたどたどしいながら対応している。
	C	● 多言語の看板は設置しない。通訳兼観光ガイドの育成に協力している。

分類	事業者	意見
	E	● インバウンド受け入れ事業において、地元事業者と海外向け旅行会社、自治体などと連携を進めている。
	F	● インバウンド受け入れ事業、事業者連携、英語対応。
	G	● ポケトークや指差し表を準備。 ● 多言語対応のパンフ、体験資料を準備。
	H	● VR による弥生時代の淡路島などの解説を多言語化している。
今後計画していること	C	● これまで継続してきたことを粛々と持続する。
	D	● ホームページを多言語化の対応できるように変更。 ● スタッフへの外国語教育。
	E	● ホームページの多言語化、インバウンド事業の情報発信・スタッフ育成を今後強化していきたい。 ● 分散ツーリズムにも貢献できるよう、大阪・京都・神戸にいらしたお客さまを効果的に淡路島に誘導したい。
	F	● 現在行っている体験にとどまらず、淡路島の素材を用いた体験を拡大していきたい。
	G	● インバウンド客に向けた商品開発を検討中。
	H	● 体験ワークショップを用いて、歴史文化に興味がない人でも楽しめるような活動をしている。

■ 自治体や地域等と連携した取り組みとして行っていること及びその成果・課題、今後計画していること

地域連携として、各種事業への取り組みやコンソーシアムの設立など、積極的な連携を図っている事業者が多い。また、具体的な取り組みを行っていない事業者においても、近隣エリアの住民や関係者との連携を進めている事業者が多く、地域連携に対して積極的な動きがあることがわかる。

分類	事業者	意見
すでに取り組んでいる内容、課題	A	● 関係各所にパンフレットを置いてもらっており、お客様から問い合わせがあれば予約用の電話番号を紹介してもらえるような関係づくりを行っている。
	B	● コロナによって中止していたイベントを今春より少しずつ復活させていく予定である。
	C	● 地元関係者や観光協会・商工会との連携を強化している。
	D	● 観光庁の「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進事業」において、航空事業者、バス会社などと連携し、体験型ツアーを開催した。また、淡路県民局が主催し、地元のファミリー層へ向けての体験ツアーも開催し、収穫体験などを行った。

分類	事業者	意見
	E	● 当社施設を拠点に、自治体、地域の銀行にも協力してもらい、淡路島ゼロイチコンソーシアムを設立。 ● 淡路島・洲本市を基軸にあたらしい事業をスタートしたい企業と継続的な関係を築いていける長期ワーケーション（事業性のある滞在型ワーケーション）を展開している。
	F	● 洲本市地域おこし協力隊として 2023 年 3 月まで活動。洲本市と連携し、日本語・英語での情報発信を続けてきた。 ● 菜の花プロジェクトの肥料（油かす）を活用して肥料にし、植物を育てている。
	G	● ひょうごテロワール旅のコンテンツ事業者として参加し、ひょうご観光本部、淡路島観光協会と連携している。
今後計画していること	C	● 施設整備を順次進めている。
	D	● 地域と当社主催のツアー企画の提案を検討中。
	E	● 学生の学びの場をつくっていくため、淡路島クエストカレッジを創設。大学や企業とともに食・環境・地域創生などのテーマを中心に淡路島をフィールドとしたカレッジを展開していく。
	G	● 観光関連の他団体への参加を検討している。 ● 類似ジャンルやコンセプトのコンテンツとコラボしたい。
地域連携に向けた要望	D	● 当社施設が地域の観光の 1 プラットホームとなり、地元住民、地元自治体、地域へ積極的にに関わり合い、連携していきたい。
	E	● 地元の事業者と学生・大学のマッチング（事業拡大・展開・人材育成・採用活動など）
	F	● 地域おこし協力隊を卒業後も継続して体験できる場所づくりをより充実させていく。 ● 日・英での情報発信、生育行程についての理解を深められるような取り組みなどを検討している。
	G	● 予算を付けてパンフレット作製や広告を出してほしい。 ● 予約サイトの手数料率を下げる、キャッシュレス決済の手数料率を下げるなどの働きかけをしてほしい。 ● 観光に関わる地域の収入が、東京中心の大きな会社に売上比率で徴収されているため、地域経済に売上の一部が循環されない。海外の様にクレジットカードの利用料を、利用者が負担するなど、様々な手数料が事業者にて負担される日本の仕組みを地域や政治で変化させてほしい。

■ モニターツアー実施に携わった立場として、今回のツアー内容や今後の受け入れに関する考え

今回実施したツアーについては、特にコンテンツ内容については好意的な反応であった。国生み神話の主旨を理解したうえで淡路島の食や風土と結びつけたこと、親子で交流しながら一つのものを作り上げていくことなどについて、事業者側としても手応えを感じる内容であったといえる。

他方、大型バスでの移動や駐車の違いがある一方で、ある程度大規模で受け入れをしたいという意見もあり、ツアーを実施する際の規模感については随時検討する必要がある。

また、PRの方法について、「普段受け入れているお客様とは違った層の受け入れ」や「インバウンドに対しては、淡路だけではなく日本全体を好きになってもらえるようなPRをしてほしい」という意見が出ており、新たな発信方法の検討が必要と考えられる。

事業者	意見
A	● 普段の「お客様の SNS」とは違った方面のお客様の獲得に期待します。
B	● 今回、普段の利用方法とは異なった形での利用をしていただいたが、この澄んだ空気感の中でまだまだできるのではないかと感じている。是非、新たなご提案をいただけると、ありがたく思います。
C	● よく調整していただき、内容についても当方の伝承内容を理解されたコンテンツを作成していただいた。地域の PRではなく、日本の PRができるコンテンツとして商品化してもらいたい。
D	● ツアーについての事前打ち合わせが不足していたため、事前準備が直前となってしまったので、事前打ち合わせを行いたかった。 ● 前日での人数変更などがあったので、人数の確定を3日前には決めてほしかった。今後、大規模人数での開催をする際には食材準備等の兼ね合いなどもあるので、直前での変更対応が難しい。 ● もっと大規模での人数の受け入れをしたい。
E	● ツアーの受け入れについてはご丁寧に対応いただき、ありがとうございました。 ● 淡路島の道がせまいこともあり、大型バスでの移動が難しい場合もあるので、交通手段については相談できるともう少し提案の幅が増やせると思います。
F	● 人数の調整をいただき、お子様と親御さんが一緒に1つの作品をつくる、という組み立てが良かったと思っています。(一緒につくすることで思い出がより深まる)
G	● モニターツアーや企画ツアーは、是非とも継続してほしいです

(2) 地域関係者アンケート調査

令和5年3月6日(月)に実施した淡路島地域海事観光推進協議会において、本調査におけるモニターツアーの実施概要を共有するとともに、モニターツアーおよび淡路島の観光の現状について協議会委員にアンケートを実施し、以下に回答結果を取りまとめた。

なお、淡路島地域海事観光推進協議会は、国・県・市、DMO(観光協会)、旅行会社、宿泊事業者、交通事業者(旅客船・バス)など地域の観光関係者により構成される任意団体である。

■ モニターツアーに関する意見

ツアー全体に関する意見として、ツアーとしての収益性を高めるため、道の駅など地域の特産品を購入できる場所を行程に加える必要性やツアーを売れる商品とするためにはさらなる $+\alpha$ が必要であるという回答があった。

個別コンテンツについては、国生みツアーは島内各地にツアーに盛り込むことが可能な場所が点在し、委員からも盛り込みたい場所に関する意見が出てきていることから、行程の幅が非常に広いテーマであることが分かる。親子ツアーについては、「懐かしい」という部分についてコンセプトと各コンテンツの結びつきが弱いのではないかと意見があった。

分類	意見
全体	● ランチや宿泊等をされているが、休憩等で道の駅や産地直売所等も盛り込んでいただければ、地域にお金を落としてもらえと思うので、今後、ツアーを組む際の参考としてほしい。 ● また来たいと思う仕掛けとして、参加者へ後日専用で発信される動画配信など、旅行後も楽しい記憶をよみがえらせてくれる工夫があればよい。 ● 今回のツアーを実際原価+利益で販売した場合、アンケート結果の希望価格帯と大きく乖離すると思う。単体ならともかく、ツアーとして実際に売れる商品になるかは、更なる$+\alpha$が必要と感じた。
国生み	● 大浜公園で朝ヨガを行っている団体があり、宿泊とセットで活用できるのではないかな。 ● 洲本城ボランティアガイドがおり、洲本城跡の壮大な石垣解説をうけることが可能である。ツアーコンテンツとして盛り込めるのではないかな。 ● 絵島、おのころ島神社、沼島という3つのおのころ島伝承地をめぐる企画も面白いのではないかな。3つめぐれば特別なお守りがもらえるなど、景品もセットで考えられる。 ● 淡路人形座の戎舞も、国生み神話関連コンテンツとして組み入れられないかな。 ● 少し参加費用を引き上げ、食事を豪華にして、食のアピールをしてはどうか。 ● 沼島は淡路在住でもなかなか行く機会がないので、ツアー商品として利用しやすいものとなれば、需要はあると思う。 ● 灘・沼島方面であれば、論鶴羽山もおすすめ。麓から山頂へ続く「論鶴羽古道」を歩けば、豊かな自然を感じながらハイキングが楽しめる。山頂近くに、修験の霊場として繁栄した論鶴羽神社がある。

分類	意見
親子	● モンキーセンターもコンテンツの一つとして考えられるのではないかな。 ● 「懐かしい」というテーマにしては、内容に関連性が低かったのではと感じる。ファミリーターゲットで割り切った方が、もっとバラエティ感のある商品に昇華出来るのではないかな。 ● 瓦コースター作りも盛り込めるかもしれない。

■ インバウンド対応に関する意見

大きく「ハード・ソフトに関する整備」と「交通対策」が淡路島でのインバウンド受け入れにおいて今後対策が必要であるとして意見が出た。ハード・ソフト整備は特に案内板の設置（可能な範囲で淡路島全体統一的に）、多言語に対応できるガイドの育成が挙げられている。交通対策については、特に二次交通の不便さと乗換案内のわかりにくさが挙げられており、淡路島内の乗換アプリ開発などを進めるべきという具体的な意見が出ている。

分類	意見
ハード・ソフト整備	● 島内の観光施設のブラッシュアップを行うことが必要であり、引き続き観光資源の PR を行うとともに、ボランティアガイド育成、案内板の統一などを行い、新たな周遊機会と滞在時間の延長に繋がっていきたいと考えている。 ● 標識、看板等の多言語化の統一が必要。 ● タブレット等を含む多言語化対応が可能とする設備の整備や、ガイド案内などソフト面での整備がともに必要である。 ● どのように販売をするか、どこで誰に販売するかが最も重要。 ● 知名度 UP のため、淡路島全体の PR が必要である。 ● 多言語対応とキャッシュレス化は引き続き推進すべきだと思う。 ● 南あわじ市では 2025 年の大阪万博に向けて、国内外からの観光客へのおもてなし体制を強化するため、観光人材として「南あわじ市観光ガイド」を養成しており、令和 4 年度に 3 名のガイドが認定されました。今後は南あわじ市だけでなく、淡路島全体をご案内できるように、ガイドのスキルアップを行い、活動の場を広げるため PR を行いたいと考えています。
交通施策	● 市跨ぎの公共交通の連携や、二次交通対策が必要。 ● 外国人が容易に出来る移動手段の案内や整理。 ● グループ利用よりも、個人利用が見込まれた場合に備え、公共交通網関連の整備を推進するべきと感じる。特に、島内ローカル路線が複雑で、それらをわかりやすく説明（表示）できる多言語化したアプリの整備も必須ではないかな。
その他	● 一時復活して廃便となった関西国際空港と淡路島（洲本 or 津名 or 淡路交流の翼港）を結ぶ航路復活は、インバウンド客を淡路島へひっぱり上げる上では重要と感じる。利用客を日本人とした場合に採算があわないことは仕方ないが、まずは大阪関西万博の期間だけでも、公費を投じて試験的運営を図る等の取り組み・強化が必要と感じる。

■ 自由意見

特に認知度向上に向けた意見があった。大阪万博に向け、インバウンドにも認知されるような PR 手法検討の重要性が挙げられている。また、コンテンツ自体の満足度が非常に高いにもかかわらず、認知度が低いコンテンツについて、まずは認知度を高めるための取り組みが必要であると考えられる。

意見
● 淡路島が、古事記にも記載されている「国生み神話」を大切にし、もっと PR していく必要があることを改めて認識しました。万博会場のほか、関西一円・全国各地の観光客が増えることで、宿泊、食事、土産物の購入などの消費が見込め、地域経済の活性化に繋がるものと考えられます。淡路島は万博会場の大阪から近い距離にありますので、通常の年にも増して、観光客が増えることは充分考えられ、経済波及効果はあると認識しています。また、外国人の旅行傾向としては、長期間の休暇を取り、家族で旅行することが多く、日本食や、自然・景勝地巡り、体験型観光を好むということが言われていますので、それらを意識した取り組みを進める必要があるものと改めて認識しました。 ● 国生みモニターツアーのおのころクルーズにおいて、参加者全員から「満足」という回答を得たことがとても嬉しいと感じるとともに、まだまだ認知度の低い、知る人ぞ知るといようなコンテンツなので、もっと PR して認知度を上げていきたいと思いました。（沼島のおのころクルーズは、先日、兵庫県のひょうごフィールドパビリオンにも認定されました）

5 モニターツアー効果検証

●モニターツアー参加者アンケート

■国生み神話の舞台を周遊！スピリチュアルアイランド淡路島体感モニターツアー

- 個別のコンテンツについて、それぞれ高い満足度となっている。
- 地域の野菜やお土産を購入する時間がもう少し欲しいという意見が見られた。
- 各コンテンツにおけるガイド役に対する評価の声が高かった。
- 宿泊形態について、ドミトリタイプも一定の満足度を得られており、ターゲット層に合わせた宿泊施設の検討が求められる。
- おのころクルーズは期待度、満足度とも高く、海事コンテンツの求心力の高さがうかがえる。

■親子で楽しむ懐かしの淡路島モニターツアー

- 各コンテンツの満足度が高い中、地域散策系が相対的に低い満足度となった。
- 地域の野菜やお土産を購入する時間がもう少し欲しいという意見が見られた。
- カメラマンやスタッフとの交流についても楽しかったという意見があり、人との交流がツアー全体の満足度に影響を与える。
- 各コンテンツにおける時間が短く、あわただしいという意見が挙げられた。
- 特に親目線で、サブコンテンツであるスタンプリーの評価が高く、時間を持て余さない工夫の重要性が挙げられる。

●ツアー実施事業者アンケート

- モニターツアーについて、ツアーテーマや選定したコンテンツについては評価が高い一方、受け入れ人数や交通手段などについてはさらに検討の必要性が挙げられた。
- インバウンド客の受入れ実績が低く、そもそも各事業者がターゲットとしてインバウンドをあまり想定していないことがうかがえる。
- デジタル化対応の遅れが各事業者の課題となっており、キャッシュレス化をはじめとした取り組みを進めていくことが求められる。
- 国生み神話など、淡路固有の資源を大切にするため、多言語対応の看板設置などはコンテンツ特性に応じた検討が必要。

●地域関係者アンケート

- モニターツアーについて、今後収益化を行っていくため、既存コンテンツのものだけではない+αのテーマ性やコンテンツ作りが求められる。
- ツアー実施にあたり、道の駅など購買によって直接地域住民にお金が落ちる施設の滞在時間を十分に設けることが求められる。
- インバウンド受け入れに向け、二次交通の整理が十分に行われていない。アプリなども使用しつつ、移動しやすい環境づくりが必要。

●ツアーを通じた良かった点と今後の課題

<良かった点>

- ガイドやスタッフの評価が非常に高かった。ツアー全体をアテンドしたり、各コンテンツで紹介したりできる人の存在が重要となる。
- 国生み神話や自然を体感するコンテンツについて、高い評価を得られている。
- 淡路島における海事コンテンツの期待度は非常に高い中、おのころクルーズやうずしおクルーズは期待以上のコンテンツとなっている。

<課題>

- ツアーを通して地域での消費拡大が図れるしくみづくりが必要。
- クオリティは高くても知名度が低いコンテンツが多くあり、PR手法の検討が必要。
- インバウンド対応として、コンテンツの特性に応じたキャッシュレスや多言語案内等が必要。
- 事業として成立させるためには、原価+利益での販売を考えた検証が必要。

6 効果検証を踏まえた今後の取り組みについて

第5章で整理した効果検証等を踏まえ、今後の取り組みとして以下の内容に整理される。

●宿泊を伴う観光について

- 昨年度調査の海事観光コンテンツの造成・実証においては、コンテンツ単体としての魅力の追及に傾倒した検討が中心となるが、今年度調査の目的のひとつでもある宿泊を伴う（≡時間をかけて地域を堪能するとともに、地域での消費を拡大する）観光形態においては、以下のような視点が必要になる。
 - ツアーを造成するうえでは、テーマ性やターゲット等の性質に見合うよう、横串を刺して資源を組み立てていくことになる。
 - テーマ性でツアーを組む際には、国生み神話が最も活用しやすく、海事観光も含め淡路島一体でのツアー造成における一つの軸となる。
 - 具体的には、最初に訪れた伊弉諾神宮で「なぜ、淡路島は国生みの島となったのか？」という問いを立てたうえで、謎解きを進めながら貴重な体験が出来るコンテンツを後の行程に並べることで一貫したストーリー性のあるツアー造成が可能となる。
- 国生み神話以外に資源を束ねられるテーマが乏しいため、ターゲットの属性等による新たな切り口（今年度事業における親子ツアーのような）立案のアプローチが必要と考えられる。
- なお、時間をかけて地域を堪能するためには、観光客がより地域や観光資源その成り立ちや背景から詳しく学べる機会の提供が必要であり、ガイド役に対する満足度が極めて高いという評価結果からも、その重要性が明らかである。
- 一方、今回評価を受けたガイド能力は地域の資源とするには、属人的すぎるため、今後この強みを磨き上げていくためには、地域性を伝えるための勉強会やガイド技能のマニュアル化等の実施により、ガイドの量的・質的な充実に向けた取り組みが有用であると言える。
- これらは農家や漁師、神職など、淡路島に精通する方が兼業としてツアー全体をアテンドすることで観光客の満足度を上げるという効果のみならず、農家や漁師、神職に新たな役割・収益機会を与え、地域の活性化につながることを期待される。
- 本調査では、ツアーの内容に重きを置いてモニターツアーを実施したが事業として収益化を考えた場合、今後、ストーリー性をより洗練させ、付加価値を高めて行くことで高単価でも参加したくなるツアーを造成していくことが重要である。
- 加えて、本調査でのツアーは、結果的にコンテンツを詰めすぎた感が否めず、参加者の購買機会が少ない行程となったことから、ツアーの中で地域にお金を落としてもらうためには、道の駅や産地直売所にて土産物の購入等が出来るよう、ツアーに組み込むとともに、滞在時間を十分に確保することも必要と考えられる。

●インバウンド需要に対応可能な魅力的なツアー商品の造成について

- インバウンドのニーズとして、農業者や漁業者、歴史文化に携わる人と触れ合い、地域のありのままの姿に触れることに価値が見出される傾向にあり、日本固有の資源の真正性（オーセンティシティ）に対する期待が高い。
- そのため、インバウンドの受入れにあたり、各コンテンツを提供する個別事業者等が必ずしも一律的に多言語対応する必要はないと考えられる。
- 具体的には、移動や宿泊等外国人観光客が主体的に動くシーンでの多言語サイン等のしつらは求められるものの、コンテンツ体験時においては、基本的に地域の人が自分の言葉で伝えることに重きをおき、外国語での説明を求められた時のみ、ツアーに帯同する通訳やアプリケーションによって対応することが、ニーズに対する的確な接遇であると考えられる。
- この際、国内観光客同様、ガイドングの重要度は高いものと考えられるが、異なる文化を異なる言語で正しく伝えることの難易度ははるかに高くなる。
- したがって、インバウンド対応としては、本調査ツアーでのリトリート体験のように、大自然の空気感そのものが魅力として体感できるコンテンツを効果的に盛り込む必要がある。
- また、インバウンド対応のハード整備として、地域の景観や文化等を阻害せず、島全体で統一した地域性のある案内表示等が有効であると考えられる。
- さらに個人客の受け入れを考えた場合には、島内における二次交通等の接続について交通整備と情報整備の両面が求められ、インバウンド客が利用しやすい多言語対応の交通アプリ開発など、移動手段へのアクセスを容易にするための整備が必要となる。
- 加えて、2025 大阪・関西万博に伴うインバウンド誘客に向けては、鉄道やバスなど複雑な乗り継ぎが不要で大阪から直接淡路島を結ぶことが可能な手段となることから、現在は運航していない関西国際空港からの航路について、改めて試験運航等の取り組みが期待される。

●その他の観光可能性について

- 淡路島は関西の大都市圏からアクセスしやすい立地であり、豊富な自然資源を有していることから、単発での交流人口のみならず、ワーケーション等の観光形態により、継続的な訪問あるいは長期間の滞在を誘発し関係人口創出につなげるポテンシャルを有していると考えられる。
- また、単なる往来や地域内での消費行動という接点以外にも、企業版ふるさと納税等金銭的な支援、企業の技術や人員のまちづくり活動への投入等、より地域への貢献度の高い接点もつくっていけるものとする。
- インバウンドの富裕層等収益性の高いターゲットの受入と、国内教育旅行のような安定的な誘客を図れるターゲットの受入の両輪で進めていくことが、本地域における持続可能な観光地経営の在り方の一つとして考えられる。
- 国生み神話やおのころクルーズは非常に高い満足度を得ており、他にはないコンテンツであるにもかかわらず、知名度が低いという課題を抱えており、今後は日本全体、また海外にも向けた有効な情報発信に取り組む必要性が求められる。